

I 委員会活動報告

1. 管理部門

A：大学管理・運営

(1) 全学協議会

「全学協議会規程」に定めのある学長、副学長、各研究科長、各学部長、各学科長、事務局長、学生センター長、並びに幹事である総務課長に加えて2022年度より出席が承認されている入試広報室長を構成員とする、全学協議会は、本学の最高意思決定者である学長の下に置かれ、全学的・学部横断的な課題や事項に関する審議・承認と、報告事項の適切かつ的確な確認・周知による各種情報の全学的共有化と、本学における教学マネジメントの統括を主な任務としている。

本協議会は、年度当初の計画に基づいて、8月を除く毎月1回、定期で計11回開催され、事前に開催された全学運営会議で確認、整理された協議事項について慎重に審議し、承認すること、また、報告事項についても確認の上、全学的に周知することについて、それぞれ遅滞なく実施した。また、2023年度より、これまでおいていた「担当」の制度を廃止し、審議事項、報告事項とも、関係する全学委員長から直接提案や報告をしてもらうこととした。

今年度、本協議会で取り上げられ審議、承認された主な事項について、以下、①全学的組織の改廃および学部横断的人事に関する審議と決定、②学則および各種規程の審議・承認、③教学マネジメントに関する事項の検討・決定、④その他の4つにまとめ今年度の活動状況を略述する。

①全学的組織の改廃および学部横断的人事に関する審議と決定

- ・客員教授・特任教授の委嘱(学長)
- ・寄付講座(ムルクス会議)
- ・研究インテグリティの確保のためのリスクマネジメント(研究推進委員会)
- ・地域づくり考房『ゆめ』専門員の雇用延長(地域づくり考房『ゆめ』運営委員会)
- ・教職センター所属の専門員の人事(教職センター運営委員会)
- ・女子ソフトボール部コーチの採用(全学学生委員会)
- ・女子バレーボール部コーチの採用(全学学生委員会)
- ・基礎教育センター専門員の雇用延長(事務局)
- ・障がい者雇用支援員(専門員)の採用(事務局)

②学則および各種規程の審議・承認

- ・「松本大学大学院TA内規」の改定(研究科)
- ・「松本大学大学院特待生規程」の改定(研究科)
- ・「松本大学人間健康学部における教育研究用機器備品等の管理運営体制に関する内規」の制定(人間健康学部)
- ・「松本大学入学金免除規程」の変更(全学入試広報委員会)
- ・「松本大学研究誌規程」の一部改訂(研究推進委員会)
- ・「松本大学公的研究費補助金取扱いに関する規程」の改正(研究推進委員会)
- ・「松本大学研究誌規程」の改正(研究推進委員会)
- ・「松本大学研究倫理委員会規程」の一部改訂(研究倫理委員会)
- ・「専門員の学外業務および松本大学における非常勤講師の任用に関する申し合わせ」の改正(全学教職センター)
- ・学園セキュリティポリシー改訂に伴う内規の廃止(情報センター運営委員会)
- ・「松本大学上野奨学基金運営細則」の制定(事務局)

- ・「松本大学就業規則細則」の改正(事務局)
- ・「松本大学ベスト・スタッフ・オブ・ザ・イヤー賞授与内規」の改定(事務局)

③ 教学マネジメントに関する事項の検討・決定

- ・アルピコグループとの包括的連携協定(ムルクス会議)
- ・特に優れた業績による返還免除候補者の推薦(副学長)
- ・健康科学研究科博士後期課程の授業料改訂(健康科学研究科)
- ・教員免許課程の設置(総合経営研究科)
- ・NSCA ジャパンへの認定校申請(スポーツ健康学科)
- ・各種アンケートの結果と教育活動の改善に向けた検討(IR委員会・自己点検評価委員会)
- ・松商短期大学部の入試における新学費免除制度(全学入試広報委員会)
- ・総合型選抜(アスリート)での強化部・重点部補充予定候補者および支援者(アドミッション・オフィス委員会)
- ・地域防災科学研究所の運営(地域防災科学研究所運営委員会)
- ・「株式会社岩岳リゾート」との産学連携協定書および産学連携に関する覚書の締結(地域力創造委員会)
- ・高校野球部への年間を通じた栄養サポート活動(高大連携推進委員会)
- ・松商学園高等学校商業科と松本大学松商短期大学部との高大接続(5年制化)(高大連携推進委員会)
- ・2024年度の公務員試験対策講座(公務員試験対策運営委員会)
- ・松本市「地域の人事部」との連携(全学就職委員会)
- ・屋外特定喫煙所の設置(全学学生委員会)
- ・女子バレーボール部の強化部への指定(全学学生委員会)
- ・8号館前駐車場等、駐車スペースに関する利用方法(全学学生委員会)
- ・全盲の受験者に対する支援(障がい学生支援会議)
- ・松本大学教職員評価の改定(ワーキンググループ)
- ・松本大学の教育課程における生成AIの取扱いに関する指針(事務局)
- ・学事システムに関する事業継続計画(BCP)(事務局)

④ その他

- ・今後の新型コロナウイルス感染症への対応(対策本部)
- ・テレビ朝日ドラマ撮影への協力(全学入試広報委員会)
- ・2024年度年間行事予定(事務局)
- ・2023年度学位授与式・卒業記念パーティー(事務局)

(2) 全学運営会議

学長、副学長、各研究科長、各学部長、短期大学部長、大学事務局長並びに幹事としての総務課長を構成員とする全学運営会議は、日常的な大学運営を司るために原則として隔週で会議を開催し、全学的・学部横断的な課題・事項および報告などについて協議、整理して、月に1回開催される全学協議会に上程、報告することによって、その円滑な運営に資することを主要な役割としている。

今年度も、全学的・学部横断的な課題・事項および報告などについて協議、整理して、全学協議会に上程、報告することを目的に、隔週において全22回の運営会議を開催した。具体的な協議事項は、全学協議会での報告にあるため、ここで省略するが、今年度より「担当」制度を廃止し、直接、全学委員長から提案や報告をしてもらうことで、特に「強化部の新設」や「喫煙所設置」など新しい事業については、活発で慎重な議論を行った上で、上程することができていたと感じる。また、これまで、この全学運営会議の一部のような形で開催されていた内部質保証室関連の委員会の議論も、この会議から独立して実施することに変更し、関係事務職員が参加しての委員会として運営できるようになった。

(3) コンプライアンス委員会

本委員会は、本学のコンプライアンスを推進するために必要な審議をし、必要に応じて連絡及び調整を行うこととしている。例年どおり、合同教授会において、「学校法人松商学園コンプライアンス行動規範」について周知し法令遵守の徹底を図った。

(4) 内部質保証室

内部質保証室は、大学管理運営に関わる自己点検・評価、FD・SD、IRの3委員会を束ねた形で、2019年度に設置された。2022年度より、IR等を担当する専任の職員が2名配置されている。

2023年度の実施・活動状況としては、大きく、定期的な全学での会議と、不定期に行われた内部質保証室に所属する委員会委員長と専任事務職員との打ち合わせの2点があげられる。全学の会議に関しては、全学運営会議の一部という形から、単独の委員会として実施することで、毎回関係の職員の参加もあり、教職員間での情報共有や学部長と職員との意見交換もできるようになっている。また、新たな専任の職員が配置されたことで、これまで形式化していた取り組みから、今の本学に求められている形で内部質保証を実質化していく議論を、不定期ではあるが行ってきた。

定期的な全学での内部質保証関係の会議は全部で12回開催された。その日程と審議事項は以下のとおりである。これまでも行ってきた主にアンケートの実施や分析結果に加えて、アンケートの内容の見直しやポリシーの検証や可視化について議論がなされた年度であった。

また、全学での会議に加えて、複数回、内部質保証室に所属する委員会の委員長と事務職員との打ち合わせが行われた。年度当初の4月7日には、キックオフに当たって今年度の内部質保証の在り方や業務体制の見直しを行った後、4月27日には内部質保証室の学内研修会として、これまでの短期大学の内部質保証に関わる取り組みについて説明の後、今後に対して質疑応答を行っている。それ以外にも全学での協議の前に、ざっくばらんに議論を行うことで、松本大学として内部質保証をどのように実現していくかといった方向性を考える機会となった。

第1回 4月11日

1. 1) IRのテーマの申請について 2) アセスメント・ポリシーの見直し案について
2. 1) 2023年度第1回FD研修会について

第2回 4月25日

1. 1) 2022年度卒業時アンケート等の結果と対応について

第3回 5月16日

1. アセスメント・ポリシーに基づいた3ポリシーの検証について

第4回 5月29日

1. 「アセスメント・ポリシー」の表記変更について
2. 湘北短期大学とのIRに関する共同研修について

第5回 6月27日

1. アセスメントプランに基づいた3ポリシーの検証資料(案)について
2. 2022年度卒業時アンケート結果の学部学科別比較資料(案)について

第6回 7月25日

- 1-1. 2022年度内定先アンケート(大学・短大)について
- 1-2. 2022年度進路先アンケート2年目(大学・短大)報告書(案)について
2. 2023年度学修行動調査の実施について

第7回 9月12日

1. 授業についての学生アンケート実施方法について

第8回 10月10日

1. GPAに基づく成績評価の分析資料(2022年度開講科目)について
- 2-1. 進路先アンケート(2年目)集計結果について

2-2. 卒業生アンケート(2年目)集計結果について

3. 各種学生アンケートの整理について

第9回 11月7日

1. 全国学生調査(第3回試行実施)集計結果について

第10回 11月21日

1. 2023年度学修行動調査(大学・短大)集計結果について

2. 2023年度学修行動調査学生自由記述の活用について

3. 2023年度前期授業アンケート結果と各学部学科の改善計画公表について

第11回 12月19日

1. 学科ごとの学修成果可視化に向けた指標の提出依頼について

2. 2023年度施設利用満足度アンケート結果の公表と取扱いについて

3. 2023年度卒業時アンケートの実施について

第12回 2月20日

1. アセスメントプランの指標の見直しと活用について

1) 自己点検・評価委員会

編集・発行を担当する3誌に関しては、『自己点検・評価報告書』が7月31日に、『アニュアル・レポート』が10月10日に、『学生版アニュアル・レポート』が12月31日に、それぞれ年度内に発行することができた。

また、教育職員評価制度についても、評価の内容や方法の見直しから、試行的な実施を行い、新しい評価項目にしたがって各教員の自己評価、学部長・学科長の1次評価、学長・副学長の2次評価、各教員へのフィードバック、希望する場合の面談まで終わらせることができています。

2) FD・SD委員会

アンケート調査に関しては、新規のものも含めて以下のアンケートの実施が2023年度に予定されていた。授業アンケート(原則全授業)、卒業生アンケート(2年目)、企業アンケート(2年目)、学修行動調査(全学年)、施設満足度アンケート、卒業時アンケート、在学生アンケート(短大のみ)、進路先アンケート。すべてのアンケートが予定通り実施し、年度末に行われたアンケートを除き、分析や点検・評価、報告を実施している。

また、FD・SD研修会に関しては、以下の表にあるように、通算2回の研修会が持たれている。それぞれ、研究推進委員会および人権委員会との合同での運営となった。

2023年度 FD・SD研修会一覧

実施日	種類	研修テーマ	講師	参加数	参加率
6/30	FD	科研費獲得を目指した申請書の書き方のポイントについて	久留米大学 児島 将康 先生	教員76名	78.4%
11/29	FD・SD	ハラスメントについての理解と対策	弁護士 高野尾 三穂 先生	教員95名 事務62名 (計157人)	90.8%

また、2023年度の教育企画推進経費としては、次の表にあるように8件の申請があり、実施されている。

2023年度 教育企画推進経費一覧

学科	研究課題名	予算額	決算額	執行率
総経	e-ラーニングシステムを使った基礎学力の向上と就職web採用テストへの対応	950,000	949,999	100.0%
観光	観光ホスピタリティ学科における資格取得対策の強化に資する取り組み	450,000	316,139	70.3%
栄養	管理栄養士国家試験受験支援	640,000	533,826	83.4%
スポーツ	基礎ゼミにおける社会人基礎力向上	220,000	153,879	69.9%
教育	信州の先生の魅力の発信	450,000	55,000	12.2%
教育	新しい教員資質向上のための学生支援	600,000	277,360	46.2%
短大	短大1年次における早期企業体験	1,260,000	157,620	12.5%
全学	平和教育の学修と実践	1,000,000	970,009	97.0%
	合計	5,570,000	3,413,832	61.3%

3) IR委員会

具体的なアンケートについては、FD・SD委員会に記述してあるが、数多くのアンケート調査や、その結果の分析、報告書の作成まで、当初計画にある形で実施できている。また、特定のテーマに関するIR活動として、「総合経営学科入学生に対するe-learning systemによる基礎学力向上とSPI対策」をテーマに実施された。

また、2023年度は3ポリシーの実質化に向けた議論を進めてきた。その結果、各学科からディプロマ・ポリシーで目指す能力・態度とそれを図るために使う指標を提出していただき、新しいアセスメントプランとしてまとめている。また、BIツールを使ったインタラクティブな可視化方法の活用やデータ精度の向上に向けた取り組み、また検証結果の活用を明確にすることなどの議論も行ってきた。

さらに、8月25日には、湘北短大のIR室と合同で「内部質保証に関して」というテーマでIR研修会を実施している。

B：保健・衛生

(1) 健康安全センター運営委員会

1) 学生の健康管理

①学生健康診断

- ・4月5日～8日 受診者数：2,183名
- ・5月～ 外部医療機関受診者：32名
- ・胸部レントゲン検査 要精密検査該当学生保健指導：0名
- ・内科診察 要精密検査該当学生保健指導：30名
- ・尿再検査対応：144名

②学校感染症抗体検査

- 5月29日～30日：219名
- 結果返却・事後指導

③保健師対応

- 4月1日～3月31日 学生利用 実人数197名／延べ人数288名
- 急病・外傷などの応急手当、心身の健康相談など
- 救急搬送 2件(交通事故 等)、医療機関受診同行 5件

※保護者相談対応 実人数11名／延べ人数25名

③カウンセラー対応

4月1日～3月31日 学生利用 実人数11名／延べ人数23名

2) 学生への健康教育

- 5月19日 健康栄養学科1年生 基礎ゼミナール「大学生のメンタルヘルス」
- 11月 1日 観光ホスピタリティ学科 バリアフリー観光「アレルギー対応について」
- 12月21日 こころと体の健康「日常生活の応急手当」
- 12月22日 健康栄養学科1年生「医療機関における他職種連携」

3) 救護対応

- | | |
|--------------|-----------|
| 10月14日・15日 | 梓乃森祭 |
| 11月 5日 | 総合型選抜(大学) |
| 11月18日・19日 | 推薦前期入試 |
| 12月 9日・10日 | 推薦後期入試 |
| 1月13日・14日 | 大学入学共通テスト |
| 2月 3日・ 4日 | 一般A入試 |
| 2月20日・ 3月 8日 | 一般B入試 |
| 3月13日 | 一般C入試 |

4) 安全な学習・就業環境の整備

- ①AED(自動体外式徐細動器)の整備
 - ・日常点検の徹底
 - ・消耗品等適宜整備
- ②救急箱の整備・貸し出し
 - 4月1日～3月31日 貸し出し実績：2件
- ③総合グラウンド対策
 - ・用水路の水質確認、夏季の周辺温度計測、熱中症予防対策
 - ・総合グラウンド運営会議出席
- ④教職員対象 アナフィラキシー症状対応講習
 - エピペン®を携帯している学生の情報共有とショック時の対応について講習を行った。

5) 感染症対応

- ①新型コロナウイルス感染症
 - 4月1日～3月31日：221件
- ②インフルエンザ
 - ・学内感染者の把握・情報収集
 - 4月1日～3月31日：247件
 - ・感染拡大防止対策
 - インフルエンザ予防接種の実施
 - 11月～12月 強化部寮生

6) 学生寮の衛生管理

松球寮(硬式野球部)、あずさ寮(女子ソフトボール部)の衛生指導、食事指導

7) 心肺蘇生法啓蒙活動

9月19日・20日	学校教育学科1～4年生 心肺蘇生講習
11月28日・12月5日	観光ホスピタリティ学科 1年生 心肺蘇生講習
12月13日	バリアフリー観光 心肺蘇生講習

8) 障がい学生支援

- ①障がい学生支援会議
- ②入学予定の障がい学生およびその保護者と事前面談、学内案内やサポートについての検討などを実施した。

9) 学会・研修

7月27日・28日	全国大学保健管理協会 関東甲信越地方部会 研究集会(昭和大学)
11月17日	全国大学保健管理協会 関東甲信越地方部会 看護職初任者講習会(講師)

10) 全国大学保健管理協会

2020年度より保健看護分科会 運営委員会副委員長、関東甲信越地方部会 私立大学幹事、全国大学保健管理協会 評議員に就任。

保健・看護分科会運営委員会(9月、1月)

11) 会議

長野県内の大学保健管理施設を担当する保健師・看護師の情報交換・知識技術の向上・研修等を連携して行うことを目的に「長野県 大学保健管理施設担当者会議」を開催。

9月4日 第12回担当者会議(会場：松本大学)

2月13日 第13回担当者会議(リモート)

(2) 衛生委員会

2023年度においては、主として次のような取組を行った。

1) 教職員の健康管理

①健康診断

6月7日・14日 教職員定期健康診断(松本大学) 88名

6月～3月 教職員健康診断(医師会医療センター) 5名

6月～2月 教職員胃検診(松本市医師会医療センター) 13名

4月～3月 人間ドック 受診89名

健康診断・胃検診・人間ドック受診者に対し、結果の説明、保健指導を実施した。

②保健師対応

4月1日～3月31日 実人数21名/延べ人数57名

急病・外傷などの応急手当、心身の健康相談、医療機関受診同行、家族対応、学生対応に関する相談など

救急搬送：1件、医療機関搬送(健康安全センター)：3件

③カウンセラー対応

4月1日～3月31日 実人数5名/延べ人数16名

学生に関する相談、心身の不調 など

2) インフルエンザ予防接種

学内で接種を受ける教職員に対し、1,700円の補助を実施。

11月22日 115名

3) 新型コロナウイルス感染予防、感染拡大防止対応

教職員に対して、感染予防行動の啓発周知、感染時の出勤停止措置対応、感染についての相談対応などを行った。

4) ストレスチェック

10月実施 回答数181件

分析結果の配布、高ストレス者のうち希望者への事後指導実施。

(3) 人権委員会

人権委員会は、ハラスメントの防止と個人情報保護の推進を取組の中心として、委員は各学部・学科から教員8名(女性5名、男性3名)、事務局長を含む各事務部署から職員4名(女性2名、男性2名*)の合計12名(女性7名、男性5名)で構成されている。また、ハラスメント等の相談を受けるハラスメント相談員には、12名(女性6名、男性6名)が選出されている。(*男性1名が途中退職)

1) ハラスメントの防止

2023年度本学ハラスメント相談員の氏名を本大学HPで公開した。

11月29日(水) 17時～18時30分に第2回FD・SD研修会として「松本大学ハラスメント防止研修」を開催した。講師は高野尾三穂弁護士にお願いした。

6月23日から29日までの「男女共同参画週間」に、人権意識の啓発活動の一環として学内にポスターを掲示した。

2) 個人情報保護の推進等

2023年度では、特別な活動はなかった。

C：施設管理

(1) 施設管理運営委員会

2023年度における施設設備の整備に関する主な事業は次の通りである。

① 教学システムの入替え

予定通り2023年度から本稼働を始め、正確にデータ移行されているかを点検、円滑に運用が進められるよう努めた。

② 教室設備の入替え工事

老朽化に伴い、教室内の机や椅子等の不具合や破損等が増加している。今年度は破損の多いPC教室(6教室)の椅子の入替えを計画し、計画通り実施した。

③ 受変電設備更新工事

昨年度、業者側で必要資材の調達に遅れが生じ、実施を見送った工事について、今年度は計画通り実施した。

④ 防犯カメラシステム更新

老朽化が進み、更新が必要な時期となっていることから、優先順位をつけながら、2024年度との2期に分けて更新することとし、2023年度分を計画通り更新した。

⑤陸上トラック補修工事(直走路のみ)

総合グラウンドの陸上トラック(直走路のみ)の補修を計画通り実施した。

⑥高額機器の購入と更新

2023年度においては、高額機器であるガスクロマトグラフ質量分析計を計画通り整備した。文部科学省の私立大学等研究設備整備費等補助金を獲得すべく申請を行ったが、残念ながら不採択であった。

⑦1・2号館の環境整備の検討

1・2号館の環境整備は継続的課題であり、将来構想と資金計画とを検討し、実施レベルや方向性を見定めていく。

(2) 危機管理委員会

現在社会において大学に求められるリスクマネジメントの対象になる事象は、大規模災害への対処、インターネット社会における情報セキュリティの確保、研究倫理の定着とコンプライアンス意識の啓発、キャンパスの安全管理とハラスメント対策など、非常に広範囲にわたるものである。これらの課題に対する具体的な取組みは、本委員会では環境保全と防犯・防災対策の2部内で進めており、主として次の活動を行った。

1) 環境保全

[活動実績]

- ①古紙・段ボール等の資源回収は障がい者就労支援事業所の第2コムハウスと契約して発生量に合わせて回収している。また、エコ・キャップは常時学内で回収する専用の箱を設置している。
- ②学内の行事の際、資源回収、環境保全の観点に留意するように働きかけている。
- ③大学全体の1年間の電気使用量は照明のLED化などにより予算内での支出で対応する。

2) 防犯・防災対策

[活動実績]

①防火(消防)・防災(避難)訓練の実施

訓練は、年に2回実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の懸念により実施せず、図上訓練を1回のみ実施した(実施日は、3月26日)。

②消防用設備定期点検(法定点検 2回/年)

1回目の点検は8月23～25日に実施した。

2回目の点検は3月18、19日及び22日に実施した。

1回目の点検で指摘を受けた、消火器の機能点検未実施(大学14本、短大1本)は2回目点検時に対応、差動式スポット型感知器の1個の交換は9月14日に実施した。

その他、有効期限切れの消火器(大学65本、短大42本)及び屋内消火栓ホース(大学40本、短大40本)を交換した。

③防火設備点検(法定点検 1回/年)

8月23日に実施した。指摘を受けた是正箇所(防火シャッターの動作不良2ヶ所、防火戸のオートヒンジ調整3ヶ所及び枠ずれ修理1ヶ所)は、2月8日に修繕を完了した。

④防災管理点検(法定点検 1回/年)

8月23～25日に実施した。ロッカー、書棚等の転倒防止処置と災害時の非常食、飲料、医薬品等の備蓄について指摘を受けた。

2. 入試広報部門

(1) 全学入試・広報委員会

入試・広報委員会は、大学院、総合経営学部、人間健康学部、教育学部、松商短期大学部の代表および入試広報室の職員から構成されている。2023年度は松商短期大学部の代表が委員長を務めた。

全学入試・広報委員会の役割は、①学生募集に関すること(オープンキャンパス、進学説明会、高校訪問など)、②入学者選抜に関すること(選抜試験改革への対応、選抜試験問題の作成と確認、選抜試験業務の運営など)、③①、②について全学的調整が必要な場合、各学部学科、または全学運営会議・全学協議会との連絡を行うこと、および④受験生、在学生、保護者、高校教員、地域住民等に対して、本学で行われている教育・研究・社会貢献活動等についての情報を発信し、広報していくことである。

また、関連組織として、入学試験問題の作成に携わる入試問題検討会と、総合型選抜の企画・運営に携わるアドミッション・オフィス運営委員会がある。

1) 委員会開催

4月6日(木)、5月10日(水)、5月31日(水)、7月5日(水)、9月6日(水)、10月4日(水)、11月1日(水)、11月29日(水)、12月27日(水)、1月31日(水)、3月6日(水)の日程で、計11回開催した。

審議・決定事項は以下の通りである。

①今年度の入学者選抜について

〈全体〉

- ・総合型選抜においては、前年度に引き続き、出願条件を「オープンキャンパス時の総合型選抜説明会への参加を義務とする」こととした。
- ・受験者数、入学手続きの動向から検討を加え、一般選抜A地方会場の群馬県高崎市会場を新潟県上越市会場に変更した。
- ・総合型選抜と学校推薦型選抜前期(公募)の入試日程を見直し、総合型選抜の合格発表を確認後、学校推薦型選抜前期(公募)の出願が間に合う日程に変更することとした(松商短期大学部を除く)。
- ・選抜区分の名称を変更し(健康栄養学科、松商短期大学部を除く)、総合型選抜(指定競技)を総合型選抜(アスリート)とした。
- ・新学習指導要領に即した2025年度入学者選拔出題範囲を、各教科の作問者に確認した上で公表した。また、大学入学共通テスト利用選抜では「情報」科目を全学部で判定の対象とすることを決定した。
- ・全盲の生徒(松本盲学校)より提出された受験時の配慮申請(試験問題の点字化、試験時間の延長、補助機器の使用)に対し許可することとし、入試問題(文章理解)は学外で点字訳するとともに点字に対応した問題に変更した。
- ・学校推薦型選抜の「文章理解」について、次年度以降は図や表の使用に限らず、多面的な問題にし、総合的な判断ができるような出題方針をとる。
- ・共通テストにおける英語の配点について、リーディング200点満点、リスニング50点満点を合計して100点満点に換算する方法から、リーディング100点満点、リスニング100点満点を合計して100点満点に換算する方法に変更した。
- ・学生募集要項に情報開示について明記し、受験者(不合格者のみ)から請求があった場合は、点数の情報のみ開示することとした。

〈総合経営学部〉

- ・総合型選抜(一般)について、両学科のどちらかを専願としていたが、総合経営学部内の学科併願を可とした。

〈総合経営学科〉

- ・昨年から変更なし

〈観光ホスピタリティ学科〉

- ・総合型選抜(指定競技)改め総合型選抜(アスリート)について、選抜区分を追加し、総合型選抜(アスリートⅠ期、Ⅱ期、Ⅲ期)とした。
- ・指定校枠を見直し、新潟県立直江津中等教育学校を追加した。

〈健康栄養学科〉

- ・学校推薦型選抜(公募)の評定平均値を見直し、3.4以上から3.2以上に変更した。
- ・各入試区分の定員について検討し、総合型を5から10に、一般Aを14から12に、共通Ⅰ期を10から8に、共通Ⅱ期を3から2に変更した。

〈スポーツ健康学科〉

- ・総合型選抜(指定競技)改め総合型選抜(アスリート)の選抜区分について、Ⅲ期を追加した。
- ・学校推薦型選抜前期・後期(公募)(評定平均値3.2以上)、総合型選抜(指定競技)改め総合型選抜(アスリート)(評定平均値3.0以上)について、評定基準を撤廃した。
- ・県内高校の指定校評定値を0.1ずつ下げ、指定校枠を広げた。また、沖縄県の主要校を指定校に追加した。

〈学校教育学科〉

- ・総合型選抜(一般)の選抜区分を追加し、総合型選抜(一般Ⅰ期、Ⅱ期)とした。追加した一般Ⅱ期の選抜方法は書類審査、小論文である。
- ・総合型選抜(指定競技)改め総合型選抜(アスリート)の選抜区分を追加し、総合型選抜(アスリートⅠ期、Ⅱ期、Ⅲ期)とした。
- ・大学入学共通テスト利用選抜(Ⅰ期、Ⅱ期、Ⅲ期)の選抜区分について、Ⅳ期を追加することとした。Ⅳ期の選抜方法はⅢ期と同様である。
- ・県内外の指定校評定値を見直し、指定校枠を追加した。

〈松商短期大学部〉

- ・指定校について見直しを行い、一部の県内高校は評定値を下げることにした。また、指定校枠に沖縄県主要校を追加した。

〈大学院〉

- ・昨年から変更なし

②オープンキャンパスの開催

- ・4月から9月まで9回で、午前のみで開催とした。7月と8月については午前・午後のスケジュールで、ランチ体験とシャトルバスの運行(長野、上田、伊那・飯田)を再開した。

③広報について

- ・アウトキャンパス・スタディをはじめ学内の活動や取り組みについて、公式Webサイト上でタイムリーに掲載し、情報発信した。
- ・蒼穹の第151号～第154号を編集・発行した。特集記事は「新たな付加価値として「地方創生」「地域再生」に資する知的集団をめざして 「2023年度事業計画」を策定」(2023年6月号)、「地域の“知的資源”として更なる飛躍発展をめざす 松本大学松商短期大学部開学70周年 松本大学開学20周年・松本大学大学院開設10周年」(2023年9月号)、「平和の尊さを同世代と共有 活動の幅を広げる「平和創造研究会」の取り組み」(2023年12月号)、「松本大学令和変革プロジェクト(Matsumoto University Reiwa-X-Project : MUR-X-Project)に関する報告」(2024年3月号)とした。
- ・撮影から8年ほど経過しているためテレビCMを一部修正した。これまで培ってきたイメージを保持する新CMを放送し、併せてYouTubeやSNSでも動画広告を活用することとした。

④その他

- ・松商学園高等学校との間で、大学入試の現状と本学入学者に関する相互理解を深めるために、進路指導の先生だけでなく3年生の担任との教職員との間で、5年連続で2サイクル目となる説明会を行った。相互に、現在の大学入試の状況と本学の必要とする人材等について情報の共有ができた。

- ・高等学校教員に対する学生募集説明会を本学において2日間対面で行った。次年度は本学のほか、長野会場、上田会場でも行うこととし、3日間の開催とする。
- ・教務課から提供された各種データ(GPA、退学・除籍者分析、卒業率・退学率・留年率、新入生プレイメントテスト、学修行動調査等)をふまえて入学者の追跡調査を行い、入試の妥当性について各学部学科において検討した。外部評価委員会においても報告をし、現状での各入試の妥当性が確認された。
- ・一般選抜Aの地方会場は長野市、甲府市、新潟市、上越市(高崎市から変更)の4か所で、新設した上越市会場には11名の受験があった。
- ・コロナ禍ではオンラインで行っていた入試問題検討部会を、対面で開催することができた。問題の作成に関しては、一部見直しが必要であり、運用方法を点検していく。なお、問題校正手当について金額の妥当性を検討し、1科目当たりの支給額を3,000円から5,000円に変更した。
- ・入学金の家族割引について、双子は入試区分が後に合格した方を減免とし、同時合格の場合は、弟・妹を減免対象とすることを明確化した。また、家族割引の適用範囲を父母兄弟姉妹に加え祖父母まで拡大することとし、入学金免除規程を改定した。併せて、学部と短期大学部にそれぞれ存在していた同規程を1つにまとめた。
- ・松商短期大学部の有資格者優遇制度で該当資格とされる日商簿記2級以上、ITパスポートについて、さらなる優遇措置として有資格者を対象に1年次の授業料を免除する学費免除制度を2024年度(2025年度学生募集)より導入することとした。また、有資格者優遇制度の該当資格は、日商簿記2級以上を3級に、ITパスポートを全商情報処理検定試験ビジネス情報部門1級、日本情報処理検定協会表計算1級以上、日本情報処理検定協会日本語ワープロ1級以上のいずれかに変更する。あわせて規程も整備、改正した。
- ・2024年度事業計画と2023年度事業報告を作成した。

2) 事業・活動

①オープンキャンパスの実施

受験生を対象にしたオープンキャンパスを実施し、大学及び各学部学科の魅力をアピールするとともに、ミニ講義や見学ツアーなども実施することで入学後の学びをイメージできるよう努めた。また、入試や就学などに関する相談に対応し、保護者に対する講話を行い、受験者の獲得を目指した。なお、日程並びに動員数等の詳細については、入試広報室の項を参照されたい。

②学外での模擬授業・模擬面接の実施

主に高等学校内で実施される模擬授業並びに模擬面接に参加した。なお、具体的な日時や回数および動員数等については、高等学校での出前講義および入試広報室の項を参照されたい。

③学外での説明会参加

学外で実施された大学・学部・学科の説明会に参加した。具体的な日時や回数および動員数等については、高等学校での出前講義および入試広報室の項を参照されたい。

④公開授業の実施

祝日授業日である11/23(木)に、教育学部と短期大学部で公開授業を実施した。参加者は95(保護者46)名であった。

3) 入試問題検討会

大学または各学部学科のアドミッション・ポリシーに則った①入試問題出題方針の決定、並びに②方針通りに入試問題が作成されたことの確認を目的としている。

(a) 検討会開催

本学で入試問題検討部会を開催し、外部作問者と学内委員が対面で打ち合わせをした。

(b) 事業・活動**① 作題案の確認と修正**

入試問題検討部会を経て作成された問題について、学内委員と作問者が電話やメール、手紙等で意見を交換し、必要に応じて修正した上で、最終作題案が決定された。

② 最終作題案のチェック

原案をもとに、事務局及び科目担当教員と学外作問者で、内容が適切であるか、誤りがないか等詳細にチェックを行った。

(2) アドミッション・オフィス運営委員会**1) 委員会開催****第1回 アドミッション・オフィス運営委員会 4月11日(火)大会議室**

①2024年度入学者選抜(総合型選抜)における各学部学科の選抜区分について確認した。また同時に、2024年度入学者選抜における各学科の総合型選抜の変更点について確認を行った。

・総合経営学科

昨年同様で変更がないことを確認した。

・観光ホスピタリティ学科

総合型選抜(アスリートⅡ期、Ⅲ期)を実施。

・健康栄養学科

昨年同様で変更がないことを確認した。

・スポーツ健康学科

総合型選抜(アスリートⅢ期)を実施。

総合型選抜(アスリートⅠ期、Ⅱ期、Ⅲ期)の出願条件を評定平均値3.0以上とする。

・学校教育学科

総合型選抜(アスリートⅡ期、Ⅲ期)を実施。

総合型選抜(一般Ⅱ期)を実施。選抜方法は、小論文と書類審査とする。

・松商短期大学部

昨年同様で変更がないことを確認した。

②今年度も総合型選抜の趣旨や入試内容を理解した上で受験してもらえよう、引き続き「総合型選抜説明会」への参加を出願の必須条件とする。あわせて、近年の入試傾向に鑑み、総合型選抜での人数確保が入試結果に大きく影響してくるため、2024年度入学者選抜も総合型選抜での積極的な学生獲得に向け進める。

③教育学部で取り入れている英語資格・検定試験による加点については、昨年度からの変更がないことを確認した。

第2回 アドミッション・オフィス運営委員会 5月24日(水)大会議室

①2024年度入学者選抜(総合型選抜)における各学部学科の実施方法について最終確認した。

②オープンキャンパスでの総合型選抜の説明方法について確認を行った。

2) 事業・活動

①各学部学科でアドミッションポリシーに沿った総合型選抜を行った。

②学科の特色ある総合型選抜として、入試区分設定や試験内容について情報収集、情報共有を行い、数年先を見据えて選抜方法の検討を継続していくことを確認した。

(3) 大学入学共通テスト実施委員会

大学入学共通テスト実施委員会は入試広報部門にカテゴライズされている委員会である。実施責任者(委員長) 1名と連絡・調整担当者1名および各学部委員2名ずつ、加えて担当職員から構成されている。主な業務(大学委員会構成における対応すべきテーマ)は、大学入学共通テストの準備と実施等である。

1) 会議及び実施事項

- ①令和6年度 大学入学共通テスト 第1回 長野県地区連絡会議
7月5日(水)オンラインによる打ち合わせ(於:2号館1階 情報センター会議室)
 - ・試験場・試験室の設定等について
 - 地域別及び試験場別の志願者推計数(収容予定数)
 - 障害等のある志願者の受け入れについて
 - ・大学間の連携等について
- ②令和6年度 大学入学共通テスト中信地区担当者会議(於:2号館1階 情報センター会議室)
7月20日(木)オンラインによる打ち合わせ
 - ・各試験場の志願者収容数
 - ・試験室のグループ化
 - ・大学入試センターへの要望事項
 - ・障害等のある志願者の受け入れ体制
- ③大学入学共通テスト監督者会議事前打ち合わせ(大学入学共通テスト実施委員会)
11月9日(木)(於:4号館大会議室)
 - ・委員および関係事務職員の顔合わせ・役割分担
 - ・実施方法について(巡視方法、チャイムの有無等)
 - ・試験室 受入人数・パターン
 - ・今後のスケジュール
- ④第1回監督者会議
12月20日(水)(於:5号館524教室)
 - ・監督者チーム分けおよび変更点を中心とした説明会
- ⑤体調不良者対応のシミュレーションについて
12月26日(火)(於:5号館515教室)
- ⑥第1回リスニング試験予行演習
12月26日(火)(於:5号館515教室)
 - ・リスニング概要説明
- ⑦第2回リスニング試験予行演習
1月9日(火)(於:5号館515教室)
 - ・リスニング事故対応練習
- ⑧配慮者対応のリスニング練習
1月11日(木)(於:5号館534教室)
 - ・監督者によるCDプレーヤー操作練習
- ⑨第2回監督者会議
1月12日(金)(於:5号館524教室)
 - ・監督者に向けた業務内容の詳説
- ⑩試験会場設営準備作業
1月12日(金)
 - ・各試験室の設営と検査

①大学入学共通テスト業務の実施

1月13(土)・14日(日)

・問題管理、監督業務および答案集約

※日時や場所は記載しないものの、この他問題仕分け業務等があった。

3. 研究推進管理部門

(1) 研究推進委員会

1) 委員会開催

・第1回 4月26日

[審議事項]

①山崎前教授の松本大学研究誌への投稿について

昨年(2022)度に退職された山崎保寿前教授より、これまでご自身で集めたデータの研究成果を論文にして松本大学研究誌へ投稿の申し出があり、審議の結果、「松本大学研究誌規程第3条」に基づき今年度の投稿が承認された。

②松本大学研究誌規程改正について

「松本大学研究誌規程改正」について提案がなされ、別紙、規程新旧対照表を基に改正案の説明がなされ、第7条のみ下記のような改正案の変更がなされ、審議の結果、承認された。尚、本規程は2023年4月26日から施行となる。

第7条

【改正(案)】：協力して査読を行う。

【審議後 改正(案)】：協力して形式査読を行う。

・第2回 (メール審議)

5月16日(火) (5月18日(木)を期限とする)発出のメールにて、下記審議事項の可否について審議依頼を行った。5月18日(木)、委員に対して「可」とする審議結果の報告をした。

[審議事項]

①受託研究の受入について

観光ホスピタリティ学科 益山代利子教授、中澤朋代准教授から一般財団法人飛騨高山大学連携センターとの受託研究の継続実施を可とすることについて審議する。

・第3回 (メール審議)

9月27日(水) (9月28日(木)を期限とする)発出のメールにて、下記審議事項の可否について審議依頼を行った。9月28日(木)委員に対して「可」とする審議結果の報告をした。

[審議事項]

①私学事業団特別補助「大学間連携等による共同研究」に学内募集に係る募集案内等について

2023年9月20日付にて私学事業団より示された研究計画の条件は、例年同様となり大きな変更がなかった。それを踏まえ、学内での募集案内および申請様式についても例年同様とし、年度を更新して、配付、提出を依頼することを「可」とするかどうかについて、審議を依頼した。

・第4回 10月25日 (水)

[審議事項]

①個人研究費と研究助成費の2023年度補正予算および2024年度予算申請について

学内研究費(個人研究費ならびに研究助成費)に係る本年度補正予算申請および新年度予算申請に係る日程について、添付資料「2024年度予算ならびに2023年度執行予定額(調査)について」のとおり、ほぼ例年並みのスケジュールとし、専任教員へ周知し、提出を依頼する。なお、申請・回答方法については、昨年と同様、Formsにて対応したい。

今後の主なスケジュール

・2024年度予算申請について

通知配付：2023年11月1日(水)・提出締め切り日：11月30日(木)

・研究助成申請書審査・査定：2024年1月12日(金)以降

・研究助成額決定後、申請書再提出締め切り日：2024年2月16日(金)予定

・2023年度執行予定額(調査)について

通知の配付：2023年12月1日(金)・提出締め切り日：12月8日(金)

・教員研究発表会 2024年2月19日(月)、20日(火)開催予定

また、2024年度研究助成費申請書を提出するにあたっての注意点として、「過去5年間の本学の研究助成による成果」を記載する際、それぞれの当該年度に受領した学内研究助成費から得られた研究成果のみを記載するよう要請がなされた。例年、研究テーマとは異なる成果を記載してくる方がいるため、再度、注意突起をすることとなった。

審議の結果、異議なく承認された。

これにより、2023年11月1日付で専任教員へ案内通知「2024年度予算ならびに2023年度執行予定額(調査)について」を発出するとともに、各学部教授会で報告を行うと確認がなされた。

・第5回 (メール審議)

10月30日(月) (10月31日(火)を期限とする)発出のメールにて、下記審議事項の可否について審議依頼を行った。10月31日(火)、委員に対して審議結果の報告をした。

[審議事項]

①私学事業団特別補助「大学間連携等による共同研究」の学内募集に関して、10月20日(金)を申請期限として募集を行ったものの、申し込み者がいなかったことから、今年度は「対象者なし」での報告となる。

・第6回 12月22日(金)

[審議事項]

①研究誌の査読者と研究発表会における座長について

これまで研究誌の査読者や教員研究発表会における座長については、研究推進委員が中心となって担ってきたが、科研費等の外部資金獲得の向上に向けた取組として、若手教員にもその役を担っていただきたいと提案がなされ、審議の結果、異議なく承認された。

②本学研究誌のあり方について

現在、本学の研究誌は、①松本大学研究紀要、②地域総合研究、③教育総合研究の3誌体制となっているが、投稿希望数が少ない現況や、オンライン化を見据える中で、研究誌体制のあり方についての検討を行いたいとの提案がなされた。

これを受けた議論では、「教育総合研究」誌については、教育学部開設時に、特に新任教員の業績を増やすことを目的に刊行されてきたが、近年、その役割を終えたと考えられることから廃刊もあり得る等の意見が出され、一旦、各学部・学科において検討をお願いしたいと再度提案がなされ、審議の結果、異議なく承認された。

・第7回 1月24日(水)

[審議事項]

①2024年度研究助成費の査定について

委員長より、所属長、研究推進委員長による審査・査定結果を踏まえ、資料「2024年度研究助成費一覧【申請】」に基づいて、研究助成費の委員長案の提案がなされた。この中で、「0査定」となった2件の理由について、申請要件である「科研費等の外部資金申請」がないことと説明がなされた。また、2024年2月に外部資金申請を予定している1件については、外部資金申請の確認を条件に認めたいとの補足説明がなされた。審議の結果、異議なく承認され、この審議結果に基づき、学長・大学委員長査定に向け、予算要求することが確認された。

②学内研究誌について

本学の研究誌体制のあり方について、各学部・学科での検討結果について報告がなされ、これを受けて山田委員長より、以下の2点について提案がなされた。

- 1) 「教育総合研究」は廃刊とし2誌体制へと戻す。
- 2) カラー化を含めた「オンライン化」を推進する。

これを受けた議論では、特に反対する意見はなかったものの、研究推進委員会としての提案として各学部教授会での確認を求める意見があったことから、2月教授会において確認することとした。

・第8回 2月21日(水)

[審議事項]

①研究誌について

前回委員会(1月24日開催)で協議、提案がなされた「『教育総合研究』は廃刊とし2誌体制へと戻す」とする委員会案について、各学部・学科において意見集約を依頼したところ、一部の学科より「2誌体制へ戻すことは致し方がない」との意見があったことが報告され、審議の結果、委員会案について承認された。併せて、オンライン化を推進することが確認された。

②松本大学研究誌規程の改定について

「松本大学研究誌規程」について、下記の点について改正したいとの提案がなされ、審議の結果、異議なく承認された。

なお、本規程の施行日は2024年4月1日とすることが確認された。

・「教育総合研究」を廃止することになったため、条文から削除する。

・研究誌を電子化(オンライン化)することに伴い、これに関する条文を一部削除・改正する。

③松本大学公的研究費補助金取扱いに関する規程の改正について

「松本大学公的研究費補助金取扱いに関する規程」については、人間健康学部設置時に制定され、教育学部及び大学院設置時に行うべき改正を失念していたとの経緯説明がなされた。その上で、「部局責任者」について現状の運用実態に見合うよう文言修正を行うこと及び改廃規定を追記することが提案され、審議の結果、異議なく承認された。なお、本規程の施行日は、大学院総合経営研究科の設置時に合わせ、遡って2022年4月1日とすることが確認された。

④ガイドライン誓約書への文言追加について

例年、合同教授会時に提出を依頼している「ガイドライン誓約書」について、関係諸法令・規程等の改正に伴い、確認事項の追加を行うものであるとの提案がなされ、審議の結果、承認された。

2) 事業・活動

①2024年度個人研究費・研究助成費の募集、査定、査定結果の通知

②第12回松本大学教員研究発表会開催

2月19日(月)と20日(火)の2日間にわたり、第12回教員研究発表会を開催した。26名から27件の研究発表があった。

③研究誌編集・発行

- i) 「地域総合研究第24号 Part1」(編集責任者 山田一哉)(7月31日発行) 論文6編、研究ノート2編、教育実践報告1編、資料1編
- ii) 「教育総合研究第7号」(編集責任者 川島均)(11月30日発行) 論文5編、研究ノート6編、調査・事例報告1編、教育実践報告2編
- iii) 「松本大学研究紀要第22号」(編集責任者 畑井治文)(3月15日発行) 総説1編、論文7編、研究ノート4編、調査・事例報告2編、教育実践報告1編、その他1編

(2) 地域総合研究センター運営委員会

1) 委員会の構成

運営委員長(センター長): 1名(短期大学部)

運営委員: 教員 6名(健康科学研究科兼スポーツ健康学科、総合経営研究科、総合経営学科、観光ホスピタリティ学科、健康栄養学科、学校教育学科より各1名)

事務局 7名

2) 事業・活動

①『地域総合研究第24号』発刊

Part1(7月31日)

Part2(10月10日)

②受託事業窓口業務

・味認識装置を使った飲料の味測定

委託先機関：ゴールドパック株式会社

担当：大学院健康科学研究科 木藤伸夫教授

(3) 研究インテグリティ・マネジメント委員会

本委員会は2023年度に新設された委員会であるため、具体的な活動はないが、新設に至る経緯を記述する。2023年6月15日に「国立研究開発法人産業技術総合研究所」の職員(研究員)が不正競争防止法違反の容疑で逮捕されたことを受け、文部科学省より、大学や研究機関に対して研究インテグリティの確保のための確実なリスクマネジメントに関する取組みを進めるよう要請があった。本学でも「研究の国際化、オープン化に伴う新たなリスクに対するチェックリスト」を活用するとともに、研究インテグリティの適切な確保について必要な事項を定め、国際的に信頼性のある研究環境を構築することを目的とする「松本大学研究インテグリティ・マネジメント規程」を2023年7月末の全学協議会において制定した。その規程に従い、新たに2023年10月1日付で本研究インテグリティ・マネジメント委員会を置くこととしている。規程に関しては、全学運営会議および全学協議会の議を経て、とくに問題なく定めることができ、2023年10月1日に施行されている。今後は、この規程に従い、具体的な活動を考えていきたい。

(4) 研究倫理委員会

1) 委員会開催

6月1日(木) メール会議

①下記の1件の研究倫理審査申請について審議し、継続審議を経て、修正後承認することを確認した。

・「急増する閉経前乳がん発症を背景として女子大学生に食習慣とエストロゲン過剰分泌の関連性の検討(2023年度)」
大学院健康科学研究科 青木雄次教授

6月13日(火) メール会議

①下記の2件の研究倫理審査申請について審議し、継続審議を経て、修正後承認することを確認した。

・「小学生における利用価値に関する研究」
教育学部学校教育学科 海沼亮専任講師

・「総合経営学科新入生に対する基礎学力e-learningシステムの学修効果」
大学院総合経営研究科 室谷心教授

6月22日(木) メール会議

①下記の2件の研究倫理審査申請について審議し、継続審議を経て、修正後承認することを確認した。

・「VRを活用した南アルプスジオパークにおける環境教育の開発と試行」
総合経営学部観光ホスピタリティ学科 田開寛太郎専任講師

・「セルフ・コンパッション(自分を思いやること)によるパフォーマンスへの効果～高校球児を対象に～」
教育学部学校教育学科 下山恵子准教授

7月25日(火) メール会議

①下記の1件の研究倫理審査申請について審議し、修正後承認することを確認した。

・「子どもの療養行動のサポートと家庭での家族役割の実際—思春期にある1型糖尿病の子どもの家族支援に向けて—」
大学院健康科学研究科 福島智子教授

8月1日(火) メール会議

①下記の1件の研究倫理審査申請について審議し、継続審議を経て、修正後承認することを確認した。

・「保護者を対象とした、幼児期の子どもおよび保護者自身の食に関する意識と行動を向上させるための

働きかけに関する検討」

大学院健康科学研究科 廣田直子教授

8月30日(水) メール会議

- ①北海道大学大学院より「男女大学生における月経知識と月経観の検討」の調査対象者募集のためのポスターを本学内に掲示したいと依頼があり、審議の結果受け入れることとなった。

9月7日(木) メール会議

- ①下記の1件の研究倫理審査申請について審議し、継続審議を経て、修正後承認することを確認した。
・「小学校走り幅跳びの踏切動作習得に関する実践研究」

人間健康学部スポーツ健康学科 吉田陽平専任講師

9月25日(月) メール会議

- ①下記の1件の研究倫理審査申請について審議し、継続審議を経て、修正後承認することを確認した。
・「教職志望学生における教職志望動機と授業エンゲージメント・実習エンゲージメントとの関連」

教育学部学校教育学科 海沼亮専任講師

10月10日(火) メール会議

- ①下記の1件の研究倫理審査申請について審議し、継続審議を経て、修正後承認することを確認した。
・「地域健康支援ステーションにおける介護予防教室の成果の検証」

人間健康学部スポーツ健康学科 中島節子准教授

10月16日(月) メール会議

- ①下記の1件の研究計画追加・変更申請について審議し、修正後承認することを確認した。
・「子どもの療養行動のサポートと家庭での家族役割の実際―思春期にある1型糖尿病の子どもの家族支援に向けて―」

大学院健康科学研究科 福島智子教授

10月25日(水) メール会議

下記の2件の研究倫理審査申請について審議し、継続審議を経て、修正後承認することを確認した。

- ・「スポーツマネジメントの概要とスポーツ産業の実態」 大学院健康科学研究科 弘田量二教授
・「算数障害児の認知特性に応じた指導効果の検討」 教育学部学校教育学科 山本ゆう専任講師

10月30日(月) メール会議

下記の1件の研究倫理審査申請について審議し、継続審議を経て、修正後承認することを確認した。

- ・「教員に対する算数障害の認知度・理解度調査」 教育学部学校教育学科 山本ゆう専任講師

11月13日(月) メール会議

下記の1件の研究倫理審査申請について審議し、継続審議を経て、修正後承認することを確認した。

- ・「教員に対する算数障害の認知度・理解度調査」 教育学部学校教育学科 山本ゆう専任講師

1月23日(火) メール会議

下記の1件の研究計画追加・変更申請について審議し、申請者に答申した。

- ・「プレフレイル高齢者へのアガロオリゴ糖介入によるフレイル進行阻止の新たな取り組み」

大学院健康科学研究科 弘田量二教授

2) 動物実験部会

i) 部会開催

3月15日(水) メール会議

①下記の4件の申請について審議し、承認することを確認した。

- ・「ホルモンと栄養素による遺伝子の転写制御機構の解析」 大学院健康科学研究科 山田一哉教授
・「生化学実験(健康栄養学科2年生後期)」 大学院健康科学研究科 山田一哉教授
・「骨格筋機能を決定する生理的要因とそのメカニズム解明」 大学院健康科学研究科 河野史倫教授
・「血糖低下作用を示す食品成分のスクリーニングと作用機構の解明」

大学院健康科学研究科 高木勝広教授

②動物実験に関する外部検証に向けて、2023年度からワーキンググループを設置している。

ii) 事業・活動

4月21日(金)

・大学院生、スポーツ健康学科学生を対象に教育訓練を実施した。

5月24日(水)

・動物慰霊祭を開催した。

9月26日(火)

・健康栄養学科学生を対象に教育訓練を実施した。

3) 遺伝子組換え実験安全管理部会

i) 部会開催

5月8日(月) メール会議

①下記の1件の申請について審議し、修正後承認することを確認した。

・「高炭水化物食による遺伝子発現調節機構の解析」 人間健康学部健康栄養学科 黒川優准教授

3月13日(水) メール会議

①下記の4件の申請について審議し、承認することを確認した。

・「高炭水化物食による遺伝子発現調節機構の解析」 大学院健康科学研究科 山田一哉教授

・「筋特性の発生・維持・変化に関わる分子メカニズムの追求」 大学院健康科学研究科 河野史倫教授

・「血糖低下作用を示す食品成分のスクリーニングと作用機構の解明」

大学院健康科学研究科 高木勝広教授

・「酵母の形質転換」

大学院健康科学研究科 高木勝広教授

4) バイオセーフティ部会

本部会は、教育や研究で取り扱う微生物や人体試料の安全な取扱いと管理を目的に、2021年12月に施行された「松本大学研究用微生物及び人体試料等安全管理規程」の第4条に基づいて設置され、研究推進管理部門の研究倫理委員会に属する部会である。本部会は次に掲げる委員で組織し、安全管理主任者を部会長とした。

①安全管理主任者

②研究推進委員長

③地域総合研究センター運営委員長

④研究倫理委員長

⑤健康安全センター運営委員長

⑥その他委員会が必要と認め、学長が任命した者

i) バイオセーフティ部会の構成

2023年度の部会は、山田研究推進委員長、川島地域総合研究センター運営委員長兼研究倫理委員長、青木健康安全センター運営委員長で組織した。安全管理主任者は、2021年10月27日に開催された研究推進委員会報告にあるように、学長から任命された健康科学研究科の木藤が職務を継続した。2023年度の申請については、安全管理主任者が責任をもって対応した。

ii) 申請件数

2023年度は、人間健康学部健康栄養学科、スポーツ健康学科の教員から7件の申請があった。そのうち微生物の使用に関する申請が3件あり(学生実習1件、研究2件)、使用する微生物は、黄色ブドウ球菌(エンテロトキシン産生株)、酵母、乳酸菌、一般細菌であった。また、人体試料については4件の申請があり(学生実習2件、研究2件)、使用する人体試料は血液、便、唾液であった。全ての申請について、微生物や人体試料の

取扱い経験が豊富な教員が実験管理者となっていることが確認できたため承認した。

iii) 今後の活動

2021年に整備された「松本大学研究用微生物及び人体試料等安全管理規程」に基づき設置された本部会であるが、2021年度後期に受理した申請は8件で、人間健康学部健康栄養学科6件、スポーツ健康学科2件の申請であった。2022年度は健康栄養学科5件、スポーツ健康学科2件の申請があった。バイオセーフティ部会が設置されて日も浅いが、今後実習や研究を含めても毎年10件以下の申請に留まることが予想された。次年度も安全管理規程の周知を徹底し、人体試料や微生物が原因となる事故の予防に努めていきたい。

(5) 地域防災科学研究所運営会議

①防災教育拡充へのサポート

総合経営学部観光ホスピタリティ学科地域防災コースに配置されてきた防災関連科目が5科目から8科目へ改編・拡充された2年目であり、観光ホスピタリティ学科対応のクラスと他学科対応クラスの2クラス編成で行った。

観光ホスピタリティ学科の履修者は約60名であり、他学科の履修者は約20名であり適正なクラス規模で運営することができた。

②地域防災の体制づくり

松本市島内・新村の両地区での防災地域づくりに注力した。島内地区の防災体制づくりに関しては、実際の安否確認訓練等を実施した。島高松町会での安否確認訓練等について、昨年、本学で開催された会議の際に、島高町町会長が訓練の内容やその成果を報告したのに続き、2024年3月、地区全体の取組み成果を、報告会を開催して行った。

また、本学が位置する新村地区において、地区の町会連合会長や防災担当者による新村地区防災計画の策定をサポートした。当該防災計画は、災害対策基本法に規定された地区防災計画として松本市地域防災計画に定めるよう松本市防災会議に提案し実施された。

両地区の防災体制づくりに関して、地区の会議に本研究所の所員が参加して作業を進め、本年度は両地区合計20回の会議参加、および4回の防災講演を行った。

③長野県地域防災推進協議会の運営

長野県の防災士を中心とした組織である長野県地域防災推進協議会(2019年発足)の事務局として、協議会の役員と連携して防災士の能力向上および会員による地域貢献活動をサポートするための活動を行った。

- ・役員会 4月27日(木)・3月29日(金)〈いずれもオンライン開催〉
- ・総会 5月20日(土)〈オンライン開催〉
- ・研修会(総会に併せて基調講演を実施)

演題：「危機事象といかに向き合うか～県の取組を中心に～」

講師：五十嵐 萬寿男 氏(前 長野県危機管理監)

- ・講師派遣 13件(松本市出前講座)

④松本大学防災士養成研修講座の実施

下記4回の「防災士養成研修講座」を実施した。各回の講座終了後に防災士資格取得試験を行い、防災士科目を受講の本学学生も受験した。

- ・第1回 受講者数：47名 資格取得者数：一般49名・学生1名
5月27日(土)

「地震・津波への備え」

松本大学総合経営学部 教授・松本大学地域防災科学研究所 教授 入江さやか

「災害情報の活用と発信」

株式会社 長野放送 編成業務局長 早川 英治

「地域防災と多様性への配慮」

松本大学総合経営学部 教授・松本大学地域防災科学研究所 教授 入江さやか

「復旧・復興と被災者支援」

松本大学副学長・総合経営学部 教授・松本大学地域防災科学研究所 副所長 尻無浜博幸

「行政の災害対策と危機管理」

前 長野県危機管理監 五十嵐萬寿男

「防災士に期待される活動」

松本大学副学長・総合経営学部 教授・松本大学地域防災科学研究所 副所長 尻無浜博幸

「企業・団体の事業継続」

松本大学大学院総合経営研究科 教授・松本大学地域防災科学研究所 所長 木村 晴壽

5月28日(日)

「災害ボランティア活動」

特定非営利活動法人長野県NPOセンター 古越 武彦

「被害想定・ハザードマップと避難」(演習)

特定非営利活動法人長野県NPOセンター 古越 武彦

「避難所の設置と運営協力」

長野県地域防災推進協議会 会長 有賀 元栄

「風水害・土砂災害等への備え」

日本気象協会 情報サービス予報サービス課 服部 雄司

「自主防災活動と地区防災計画」

松本大学大学院総合経営研究科 教授・松本大学地域防災科学研究所 所長 木村 晴壽

・第2回 受講者数：65名 資格取得者数：一般63名・学生14名

8月26日(土)

「地震・津波への備え」

松本大学総合経営学部 教授・松本大学地域防災科学研究所 教授 入江さやか

「避難所の設置と運営協力」

長野県地域防災推進協議会 会長 有賀 元栄

「災害ボランティア活動」

特定非営利活動法人長野県NPOセンター事務局 次長 古越 武彦

「被害想定・ハザードマップと避難」(演習)

特定非営利活動法人長野県NPOセンター事務局 次長 古越 武彦

「行政の災害対策と危機管理」

前 長野県危機管理監 五十嵐萬寿男

「地域防災と多様性への配慮」

松本大学総合経営学部 教授・松本大学地域防災科学研究所 教授 入江さやか

8月27日(日)

「企業・団体の事業継続」

松本大学大学院総合経営研究科 教授・松本大学地域防災科学研究所 所長 木村 晴壽

「災害情報の活用と発信」

株式会社 長野放送 編成業務局長 早川 英治

「復旧・復興と被災者支援」

松本大学副学長・総合経営学部 教授・松本大学地域防災科学研究所 副所長 尻無浜博幸

「防災士に期待される活動」

松本大学副学長・総合経営学部 教授・松本大学地域防災科学研究所 副所長 尻無浜博幸

「風水害・土砂災害等への備え」

日本気象協会 情報サービス予報サービス課 服部 雄司

「自主防災活動と地区防災計画」

松本大学大学院総合経営研究科 教授・松本大学地域防災科学研究所 所長 木村 晴壽

・第3回 受講者数：68名 資格取得者数：一般68名・学生 3名

12月16日(土)

「地震・津波への備え」

松本大学総合経営学部 教授・松本大学地域防災科学研究所 教授 入江さやか

「避難所の設置と運営協力」

長野県地域防災推進協議会 会長 有賀 元栄

「災害ボランティア活動」 特定非営利活動法人長野県NPOセンター事務局 次長 古越 武彦
 「被害想定・ハザードマップと避難」(演習)

特定非営利活動法人長野県NPOセンター事務局 次長 古越 武彦
 「行政の災害対策と危機管理」 前 長野県危機管理監 五十嵐萬寿男
 「地域防災と多様性への配慮」

松本大学総合経営学部 教授・松本大学地域防災科学研究所 教授 入江さやか

12月17日(日)

「企業・団体の事業継続」

松本大学大学院総合経営研究科 教授・松本大学地域防災科学研究所 所長 木村 晴壽

「災害情報の活用と発信」 株式会社 長野放送 編成業務局長 早川 英治

「復旧・復興と被災者支援」

松本大学副学長・総合経営学部 教授・松本大学地域防災科学研究所 副所長 尻無浜博幸

「防災士に期待される活動」

松本大学副学長・総合経営学部 教授・松本大学地域防災科学研究所 副所長 尻無浜博幸

「風水害・土砂災害等への備え」 日本気象協会 情報サービス予報サービス課 服部 雄司

「自主防災活動と地区防災計画」

松本大学大学院総合経営研究科 教授・松本大学地域防災科学研究所 所長 木村 晴壽

・第4回 受講者数：100名 資格取得者数：一般96名・学生45名

3月9日(土)

「地震・津波への備え」

松本大学総合経営学部 教授・松本大学地域防災科学研究所 教授 入江さやか

「避難所の設置と運営協力」 長野県地域防災推進協議会 会長 有賀 元栄

「災害情報の活用と発信」 株式会社 長野放送 編成業務局長 早川 英治

「企業・団体の事業継続」

松本大学大学院総合経営研究科 教授・松本大学地域防災科学研究所 所長 木村 晴壽

「復旧・復興と被災者支援」

松本大学副学長・総合経営学部 教授・松本大学地域防災科学研究所 副所長 尻無浜博幸

「行政の災害対策と危機管理」 前 長野県危機管理監 五十嵐萬寿男

「防災士に期待される活動」

松本大学副学長・総合経営学部 教授・松本大学地域防災科学研究所 副所長 尻無浜博幸

3月10日(日)

「災害ボランティア活動」 特定非営利活動法人長野県NPOセンター事務局 次長 古越 武彦
 「被害想定・ハザードマップと避難」(演習)

特定非営利活動法人長野県NPOセンター事務局 次長 古越 武彦
 「地域防災と多様性への配慮」

松本大学総合経営学部 教授・松本大学地域防災科学研究所 教授 入江さやか

「風水害・土砂災害等への備え」 日本気象協会 情報サービス予報サービス課 服部 雄司

「自主防災活動と地区防災計画」

松本大学大学院総合経営研究科 教授・松本大学地域防災科学研究所 所長 木村 晴壽

4. 地域連携部門

(1) 地域力創造委員会

1) 委員会開催

第1回 地域力創造委員会 6月20日(火) 9時から9時35分

[審議事項]

①松本大学健康首都会議について

第2回松本大学健康首都会議の実施計画について、次のとおり概要の説明を行った。

- ・開催日：2023年11月11日(土)、12日(日)10:00～15:30(予定)
- ・会場：松本大学5号館・7号館・体育館など
- ・テーマ：「健康ライフの知恵を増やそう！ -さらなる、脳活・筋活・骨活・腸活に向けて-

〈実施内容〉

- ・地域の健康づくりのための基調講演(外部講師)
- ・地域の健康づくりのための講座開講(2日間で約30講座)
- ・企業・団体による健康関連ブース出展

〈組織・体制〉

- ・実施主体：松本大学健康首都会議実行委員会
- ・構成団体：松本大学・市民タイムス・abn長野朝日放送
- ・運営事務局：株式会社 日本広告

第2回 地域力創造委員会 7月18日(火)から7月20日(木)(メール審議)

[審議事項]

①産学連携事業について

短期大学部商学科の金子能呼教授より、株式会社岩岳リゾートと地元食材を用いた商品開発に関わる研究活動および開発商品のプロモーション活動の連携事業を取組むこととなり、「産学連携協定書」及び「産学連携に関する覚書」を締結したいとの申し出があり、審議を行った。

第3回 地域力創造委員会 9月14日(木) 15時から16時

[審議事項]

①第2回松本大学健康首都会議のプログラムについて

プログラム(案)について、概要の説明がなされた。

第1日目：11月11日(土)

- 10:00～10:30 開会式 実行委員長 菅谷 昭学長あいさつ
- 10:30～12:00 基調講演・演題「健康の魂学(ソウロロジー)」(山中 康裕氏、京都ヘルメス研究所所長、京都大学名誉教授・医学博士)
- 12:00～13:00 休憩 「健康弁当」注文・販売
- 13:00～14:10 講座1-1(5会場)
- 14:30～15:40 講座1-2(5会場)

第2日目：11月12日(日)

- 9:30～10:40 講座2-1(4会場)
- 11:00～12:10 講座2-2(4会場)
- 12:10～13:10 休憩 「健康弁当」注文・販売
- 13:10～14:20 講座2-3(4会場)

今後、各講座、出展等が確定したところで、来週後半に市民タイムスが社告、長野朝日放送でのCMなど募集広報を開始し10月1日から11月1日まで募集をかけ、前回同様のスケジュールで進めると確認がなされた。

②公開講座の新規申請について

申請者：長谷川 尋之 専任講師(健康栄養学科)

テーマ：地域スポーツチームが繋ぐ、創る、スポーツとその可能性

日 時：10月15日(日) 13：30～15：00

第4回 地域力創造委員会 11月6日(月) 9時40分から10時15分

[審議事項]

①第2回松本大学健康首都会議について

配付資料に基づき、当日の運営事務局、本学事務職員のスタッフ体制、補助スタッフの手配、緊急対応等の確認がなされた。現状の確認として、11月3日時点での開催講座の受講予約者数の報告がなされた。

②2024年度公開講座経費申請について

本年度同様の内容とし、申請にあたり留意事項は次のとおりと説明がされた。

- ・開催経費(予算)の助成は、学部または学科による組織的に取組む公開講座で、本学が主催する公開講座として相応しい内容のものを対象とし、個人的なものは対象外とする。
- ・講義の中で学生を対象としながら学外者の聴講も可とするものは、その旨明記する。
- ・申請が認められ経費の配分を受けた場合は、年度終了後、定められた期日までに、『自己点検・評価報告書』に掲載する報告書を提出する。
- ・公開講座開催に係る企画・運営等の業務については、申請者の責任で行うこととする。

③2024年度地域連携活動経費の申請について

昨年度までは地域連携委員会で対応していたが、本年度から委員会構成が変更となり、本委員会にて取り扱うことが確認された。申請については、本年度と同様の内容とし、経費配分方針は次のとおりと説明がなされた。

- ・地域連携(地域住民との協働や住民が裨益者となる取組)に限定して経費配分を行う。
- ・研究・教材開発となっているもの、教育企画(学部・学科としての取組)に相応しいものには経費配分しない。
- ・学会参加経費(旅費・負担金等)は、個人研究費を使用してもらう。
- ・予算総額枠に収めるため、一定の圧縮を行う場合がある。

第5回 地域力創造委員会 3月22日(金)から3月26日(火)(メール審議)

[審議事項]

①2024年度地域連携活動経費および公開講座経費予算の承認について

次年度の地域連携活動経費および公開講座経費申請について、地域連携活動経費3件、及び公開講座経費2件の申請がなされ、地域力創造委員長により審査・査定を行い、予算額原案が策定された。なお、大学事務局長査定、学長・大学委員長査定を経て、去る2月27日(火)開催の大学委員会へ上程され、審議の結果、本件につき承認されていることを確認した。

2) 事業・活動

①公開講座の募集・実施

「地域スポーツチームが繋ぐ、創る、スポーツとその可能性」(長谷川専任講師申請)を大学祭開催期間中の10月15日(日)に実施をした。

②第2回松本大学健康首都会議の計画・実施

11月11日(土)から12日(日)にかけて、本学を会場に第2回松本大学健康首都会議(本学主催、市民タイムス・長野朝日放送共催)を開催した。地域の住民の方々を中心に、延べ約900名が来場された。

なお、各日の基調講演、特別講演、及び講座(合計31講座)の具体的な内容は以下のとおりであった。

○11月11日(土)

基調講演：「健康の魂学(ソウロロジー)」山中康裕(京都ヘルメス研究所・京都大学名誉教授・医学博士)

講座1：【特別講演】「知って安心！食中毒を防ぐには」関崎 勉(京都大学大学院医学研究科研究員、東京

大学名誉教授、放送大学客員教授、日本学術会議連携会員)

講座2：運動で脳を活性化

講座3：事前に防ぐ身体の不調～身体に有効な姿勢の整え方～

講座4：【ワークショップ】心をハグしよう～自分の心を知り、心地よい習慣をつくる～

講座5：贈与の見直し。知っておきたい相続準備

講座6：森永乳業の機能性素材で健康になろう！～ビフィズス菌とペプチドのご紹介～

講座7：無理なくできる中高年者のための筋トレ実践講座

講座8：腸活～腸内環境を食事で整える～

講座9：家族を守るために知っておきたい応急手当擦り傷から心肺蘇生法まで

講座10：骨コツ貯めよう『きん(筋肉)』のお話

講座11：発達障害のある子どもと大人～正しい理解と上手な関わり方～

講座12：FPから学ぶ資産の作り方「マネーセミナー」

講座13：誰でもできる！運動初心者のための簡単な健康運動～日常の運動習慣の付け方～

○11月12日(日)

講座14：人生会議(ACP)とリビングウィル～在宅医療と地域包括ケアはどこまで進んだか～

講座15：良い歯で、よく噛み、良い身体

講座16：動脈硬化予防改善のための運動講座

講座17：高齢者のための音楽療法

講座18：【ワークショップ】豊かな未来社会を目指して仮想世界のポジティブな活用を考える

講座19：【地域防災科学研究所】防災による地域の健康を考える①災害情報の活用

講座20：世界の長寿地域から学ぶ10の共通するライフスタイル

講座21：長野県企業における「健康経営」の導入状況とその効果

講座22：血管年齢の測定体験会

講座23：防ごう！高齢者の3大不慮の事故死～浴槽溺死、平面転倒、食物窒息～

講座24：【地域健康支援ステーション】災害時の非常食ポリパックの調理

講座25：【地域防災科学研究所】防災による地域の健康を考える②長野県の気象情報解き明かし

講座26：個人の体力に合った健康づくりを高原のレイクリゾートから考える

講座27：森と里山の恵みを活かした健康づくりと地域活性化

講座28：ゆっくり呼吸とストレッチ～太極拳を楽しむからだづくり～

講座29：運動と食事から始めよう予防医学！医師が実践する予防医療

講座30：【地域健康支援ステーション】楽しく体を動かそう！親子運動教室

講座31：腸内環境を整えて、健康寿命を延ばしましょう！

○ブース出展等

ブース出展：株式会社アコース/池の平ホテル&リゾート/大塚製薬株式会社/株式会社ナガノトマト

弁当販売：エア・ウォーター東日本株式会社/手作り健康弁当・飲料等の販売

また、来場者アンケートの結果から、受講者の平均年齢は67.1歳、来場エリアは松本市(72.2%)、次いで安曇野市(17.9%)、塩尻市(3.8%)等であった。来場された動機については「市民タイムスを見て」(63.5%)、「テレビCMを見て」(17.9%)、「友達から誘われて」(10.1%)等が多かった。

なお、満足度については無回答が多かったが、回答者のうち7割程度が「満足」、2割程度が「やや満足」と回答していた。

(2) 地域健康支援ステーション運営委員会

地域住民や企業・自治体等からの要望に応じて栄養指導、運動指導や体力測定などの活動を、栄養と運動の両面からアプローチする健康づくりの支援活動を行っている。

1) 組織と会議

- ①組織：運営委員長1名(スポーツ健康学科)、委員6名(健康栄養学科、スポーツ健康学科、総合経営学科・観光ホスピタリティ学科・学校教育学科、商学科から各1名)、事務局6名(健康運動指導士2名、管理栄養士1名、事務3名)
- ②運営委員会：4回 5月31日、7月18日(メール審議)、12月14日(メール審議)、2月29日(メール審議)

2) 地域貢献事業活動

地域などからの依頼を受け、本ステーションの専任スタッフ(管理栄養士、運動指導士)が実施した活動。

①健康サポート教室

4月5日・19日・26日、5月10日・17日・31日、6月7日・15日・21日、7月5日・19日・26日、8月2日・23日・30日、9月6日・20日・27日、10月4日・18日・25日、11月1日・15日・22日、12月6日・13日・20日、1月10日・24日・31日、2月7日・21日・28日、3月6日・13日・27日

(依頼元：エア・ウォーター東日本(株)甲信越支社 梓水苑、参加者延べ198名)

②トレーニングマシンを使用した健康運動教室

4月7日・14日・21日・28日、5月12日・19日・26日、6月2日・9日・16日・23日、7月7日・14日・21日・28日、8月4日・18日・25日、9月1日・8日・15日・22日、10月6日・13日・20日・27日、11月3日・10日・17日、12月1日・8日・15日・22日、1月12日・19日・26日、2月2日・9日・16日・23日、3月1日・8日・15日・22日

(依頼元：塩尻市社会福祉協議会ふれあいセンター広丘、参加者延べ376名)

③林業作業士(フォレストワーカー)1年目集合研修 栄養講座

7月14日・18日

(依頼元：長野県林業労働財団、参加者延べ40名)

④女性向け献立作成等に係る研修

9月4日

(依頼元：松本少年刑務所)

⑤健康運動教室 フォローアップ講座

9月21日

(依頼元：塩尻市社会福祉協議会ふれあいセンター広丘、参加者延べ11名)

⑥スポーツフェスティバル 体力測定

10月15日

(依頼元：寿スポーツ協会、参加者延べ37名)

⑦介護予防講座「おうちで気軽に！フレイル予防」

10月5日

(依頼元：塩尻市社会福祉協議会ふれあいセンター広丘、参加者延べ26名)

⑧健康運動講座(フレイル予防、災害時の健康維持について)

1月18日

(依頼元：岡田地区健康づくり推進委員会、参加者延べ30名)

⑨安曇野市介護予防講座 フォローアップ講座(OB会)

1月30日、2月20日

(依頼元：安曇野市高齢者介護課、参加者延べ 41名)

⑩介護予防講座「健康寿命を延ばす食生活」栄養講座

3月19日

(依頼元：塩尻市社会福祉協議会ふれあいセンター広丘、参加者延べ33名)

3) 松大ヘルスプロモーション事業活動

①原村 春夏秋冬健康チャレンジ!プロジェクト

5月27日、7月20日、10月18日、2月3日

(依頼元：原村保健福祉課健康づくり係、参加者延べ170名)

②安曇野市一般介護予防 ステップアップ教室

5月23日、6月6日・13・20日・27日、7月4日・11日・18日・25日、8月1日・22日

(依頼元：安曇野市福祉部高齢者介護課、参加者延べ147名)

③「原村 TAGFITNESS」の体力測定、運動講座、栄養講座

7月5日・6日・27日、8月10日・24日、9月20日・28日、10月12日・25日・26日、11月16日・30日、12月14日、1月17日、2月15日・28日・29日

(依頼元：原村保健福祉課医療給付係、参加者延べ126名)

④「松本市立病院人間ドックオプションサービス・アクティブドック」体力測定、運動指導

6月7日・15日、7月19日・20日、8月2日・23日・24日、9月6日・7日・14日・20日、10月11日、11月9日・17日・18日・22日・30日、12月3日・10日・22日・23日・24日・26日、1月13日・14日・25日・31日、2月1日、3月6日・7日・13日・14日・21日

(依頼元：エア・ウォーター東日本(株)甲信越支社 梓水苑、参加者延べ30名)

⑤松本市体力検診事業 からだチェック

7月28日、8月18日、9月5日・15日・19日、10月6日・19日・24日・28日、11月17日・18日・27日、12月2日・7日・9日・12日・15日・16日・19日、1月11日・19日・26日

(依頼元：松本市健康福祉部健康づくり課、参加者延べ452名)

⑥安曇野市一般介護予防事業 フィットネスバイク教室

9月26日、10月10日・17日・24日・31日、11月7日・21日・28日、12月5日・12日・26日

(依頼元：安曇野市高齢者介護課、参加者延べ143名)

⑦太陽工業株式会社 TAGFITNESS

8月30日・31日、3月5日・6日・25日・26日

(依頼元：太陽工業株式会社、参加者311名)

⑧「出張型特定保健指導」の実施

4月6日、3月25日

(依頼元：池の平ホテル&リゾート(E/U：日本ガイシ健康保険組合、中日新聞社健康保険組合)、対象者16名)

⑨「滞在型特定保健指導」の実施

1月18日、2月1日・2日・20日、3月8日・19日・22日・27日・29日

(依頼元：池の平ホテル&リゾート(E/U：中日新聞社健康保険組合、名鉄健康保険組合、日本ガイシ健康保険組合)、対象者：9名)

⑩「出張型体力測定」の実施

3月11日

(依頼元：池の平ホテル&リゾート(E/U中日新聞社健康保険組合)、参加者81名)

⑪「企業1社」への体力測定

3月15日

(企業1社、対象者12名)

4) その他

- ①栄養動画配信
- ②「松大健康首都会議」体験講座実施
- ③「健康経営ライブオンセミナー」大塚製薬(株)との共催
- ④販促活動
- ⑤「TAGFITNESS紹介動画」作成・Webサイト上へ掲載
- ⑥「第1回健康経営バーチャルイベント by 健康社長」出展・参加
- ⑦「令和5年度健康づくり研究討論会」発表
- ⑧視察対応「学校法人 筑波学園 アール医療専門職大学、一般財団法人 日本開発構想研究所」

5) 広報活動

- ①「蒼穹」第152、153号、154号への原稿執筆
- ②大学ホームページ・地域健康支援ステーションのホームページに活動紹介

(3) 地域づくり考房『ゆめ』運営委員会

1) 考房『ゆめ』利用促進事業

- ①講義内での『ゆめ』およびプロジェクトの紹介
 - 4月11日(火)「基礎ゼミナール(松商短期大学部)」
 - 4月12日(水)、14日(金)、6月7日(水)、14日(水)、21日(水)「基礎ゼミナール(人間健康学部)」
 - 4月19日(水)「松本大学と地域(教育学部)」
 - 4月20日(木)、25日(火)「基礎ゼミナール(総合経営学部)」
- ②学生企画による「ゆめ説明会」開催
 - 4月25日(火)～27日(木)
- ③Twitter、Instagram、YouTube
 - ONE TEAMプロジェクトや学生プロジェクト等、活動の様子を各種SNSにて情報発信
- ④2023年度地域連携事業利用実績

年間受入件数	年間参加件数	年間延参加人数
20件	13件	79人

※考房『ゆめ』事務局を通じて参加した件数

2) 学生と地域との連携による社会貢献活動へのコーディネート事業

- ①学生の自主企画による活動
 - 地域づくり学生チャレンジ奨励制度対象プロジェクト(7プロジェクト…具体的内容は後述の「3)考房『ゆめ』自主事業②2023年度地域づくり学生チャレンジ奨励制度」参照のこと)
- ②地域とのパートナーシップ事業(4プロジェクト)
 - 4月～：すすはなプロジェクト
 - 花火大会開催地区の歴史調査及び地域行事への参加、花火大会での企画立案と実行、広報活動への参画、Twitter及びInstagramの運用 [学生、すすき川花火大会実行委員会]
 - 4月～：松本BBS会
 - 松本少年院の少年との交流、更生保護研修、更生支援活動への参画 [学生、社会人会員、保護司会等]
 - 4月～：松本大学サント・プロジェクト・まつもと
 - クリスマスを病院や施設で過ごす子どもたちへ本を贈る活動への参画 [学生、市民団体サント・プロジェクト・まつもと]

4月～：茶房「ひといき」

新村地区内で地域住民と学生の居場所となるサロンの共同運営

[学生、新村地区住民等]

3) 考房『ゆめ』自主事業

① ONE TEAMプロジェクト

「地域を知る」ことを目的とし、5月～翌年2月にかけて8回実施

- ・第1回「地域ビジネスに活かす農業」5月20日(土)

協力者：田中浩二さん、藤本孝介さん((株)かまくらや)

佐々木清夫さん(四賀地区住民)

松本市社会福祉協議会四賀地区センター

参加者：23名(学生17名、教職員6名)

- ・第2回「善光寺と美術館バスハイク」6月17日(土)

協力者：新村地区地域住民

永代宿坊「兄部坊」、長野県立美術館

参加者：18名(学生12名、教職員6名)

- ・第3回「地域の農業資源を知ろう」7月15日(土)

協力者：青柳賢木さん(朝日村観光協会)

上條典泰さん((有)農地ホスピタル朝日)

参加者：14名(学生9名、教職員5名)

- ・第4回「平和教育バスハイク」8月19日(土)

協力者：芝沢小学校

海野修さん(長野俊英高校)

参加者：21名(学生16名、教職員5名)

- ・第5回「収穫から学ぶ農業ビジネス」9月23日(土)

協力者：田中浩二さん、藤本孝介さん((株)かまくらや)

佐々木清夫さん(四賀地区住民)

松本市社会福祉協議会四賀地区センター

参加者：9名(学生6名、教職員3名)

- ・第6回「秋の安曇野を巡るバスの旅」10月23日(土)

協力者：新村地区地域住民

サントリー天然水北アルプス信濃の森工場

大町山岳博物館

参加者：11名(学生7名、教職員4名)

- ・第7回「上土で映画を楽しむ会」11月25日(土)

協力者：松本市上土商店街振興組合

永高英雄さん(上土劇場支配人)

志田一穂さん(映画音楽DJ)

参加者：22名(学生15名、教職員7名)

- ・第8回「四賀のおこわを囲む憩いのサロン」2月29日(木)

協力者：松本市社会福祉協議会四賀地区センター

松本市四賀保福寺地区、両瀬地区の皆さん

参加者：13名(学生9名、職員4名)

② 2023年度地域づくり学生チャレンジ奨励制度

審査会：2023年5月15日(月)実施

応募プロジェクト：7 認定プロジェクト：7

- ①ええじゃん栄村(100,000円)
栄村の地域活性化へ協力、村民との交流を深めて魅力を広めていく。
- ②◎いただきます!! (100,000円)
食を通じて地域住民および子どもとの交流を行い、食について学ぶ機会を作る。
- ③あるぶすタウン(100,000円)
子どもたちが社会の仕組みを学び、地元地域に興味をもってもらう機会を作る。
- ④松本大学サンタ・プロジェクト・まつもと(31,000円)
クリスマスを病院や施設で過ごす子どもたちへ本を贈る。
- ⑤茶房「ひといき」 (100,000円)
新村地区内で地域住民と学生の居場所となるサロンを、地域住民と共同運営する。
- ⑥すすはなプロジェクト(100,000円)
すすき川周辺地域の歴史を学び、花火大会の運営に企画立案する。
- ⑦Sign(70,000円)
障がいについて理解を深める。

報告会：2024年3月7日(水)実施

- ①ええじゃん栄村(交付奨励金額100,000円 決算額42,100円)
 - ・栄村小滝地区に訪問し、地域住民の方々と交流を通して、地域づくりについて学びを深めた。
 - ・栄小学校の児童と初めてとなる交流の機会ができた。
- ②◎いただきます!! (交付奨励金額82,000円 決算額8,832円)
 - ・くれき野野菜クラブとの交流をした。
 - ・特産品を使用したお菓子を試作し、茶房「ひといき」にて地域の方へ提供した。
 - ・あるぶすタウンにて、子どもたちと簡単にできる軽食を試作した。
- ③あるぶすタウン(交付金奨励金額100,000円 決算額99,935円)
 - ・学内で5年ぶりとなるあるぶすタウンを実施し、子どもたちが職業を知る機会となり、企業の方、地域の方、学生と交流できる機会となった。
 - ・他の学生プロジェクトも連携できるプースの企画をした。
- ④松本大学サンタ・プロジェクト・まつもと(交付奨励金額31,000円 決算額8,166円)
 - ・サンタ・プロジェクトの歴史を学び、全国のサンタサミットにも参加した。
 - ・本の購入者(市民サンタ)へ送るサンタクローズ認定証のデザインを考案した。
 - ・本を届ける際に使用する贈呈箱を手作りし、本と併せて寄贈した。
 - ・あるぶすタウンにて子どもたちとしおり制作をした。
- ⑤茶房「ひといき」(交付奨励金額100,000円 決算額56,451円)
 - ・地域住民と学生が共同運営する居場所の実施をした。
 - ・ONE TEAMプロジェクトとの合同企画としてバスハイクを実施した。
 - ・あるぶすタウンにて子どもたちと喫茶体験をした。
- ⑥すすはなプロジェクト(交付奨励金額100,000円 決算額31,607円)
 - ・筑摩地域の歴史を学び、花火大会の経緯や位置づけを学んだ。
 - ・すすき川花火大会の運営企画及び広報活動、スクリーンショットコンテストを実施した。
 - ・オリジナルの缶バッジを作製した。
- ⑦Sign(交付奨励金額70,000円 決算額26,000円)
 - ・手話学習会を通し、聴覚障害についての学びを深めた。
 - ・ダウン症の子どもたちと交流をした。

4) センター組織の整備充実

①各種会議開催

- ・運営委員会：年5回(内2回はメール審議)
- ・リーダー会議：年16回

②広報関係

〈大学の発行物〉

- ・発行物／ゆめ通信(第52号～第53号)、地域づくり考房『ゆめ』2023年度活動報告書
- ・学内発行物／蒼穹(第151号～第154号)
- ・ウェブサイト・SNS／ゆめHP、Twitter、Instagramによる情報発信

〈メディア関係〉

- ・新聞

信濃毎日新聞	7月7日(金)	松本BBS会
	7月16日(日)	ONETEAMプロジェクト
MGプレス	11月18日(土)	ONETEAMプロジェクト、茶房「ひといき」
	2月1日(木)	あるぶすタウン
	3月9日(土)	あるぶすタウン
市民タイムス	5月21日(土)	ONETEAMプロジェクト
	7月4日(火)	松本BBS会
	8月10日(木)	スマホ講座
	11月22日(水)	サンタ・プロジェクト
	11月29日(水)	ONETEAMプロジェクト
	2月25日(日)	あるぶすタウン
中日新聞	2月25日(日)	あるぶすタウン
月刊イクジイ	5, 7, 8, 11, 12月号～	2024年1, 3月号
		こどもあそび隊による「おうち遊び」「季節行事」の紹介記事他

(4) 高大連携推進委員会

1) 委員会の運営

委員会の構成は、総合経営、人間健康、教育の3学部および松商短大から6名の教員と地域づくり考房『ゆめ』から2名の専門委員と2名の職員および担当課長の計11名が委員となり、地域連携課に事務局を置き運営がなされた。高大連携の目的は、「本学と高等学校等の連携を図り、本学と高等学校等の教育の接続による教育効果を高めること」としている。取組は学部・学科毎に方法が異なり、また、意思決定の迅速化の観点から、各事業は各学部・学科において委員を中心に主体的に取り組むことを前提として、事前事後において委員会全体としての情報の共有化を図っている。

2) 活動内容

本年度の活動は以下の通りである。

①総合経営学部

i) デパートサミット(マーケティング塾・デパートゆにっと)

デパートサミット事業は、長野県商業教育研究会が主催し、松本大学が共催して2013(平成25)年度より実施している県内の商業高校を中心とした高校生の人材育成事業であり、毎月1回松本大学において開催される「マーケティング塾」とその成果を検証する合同販売会の「デパートゆにっと」によって構成されている。実施内容は、次の通りである。なお、第11期が令和4年度12月より開始されているため、令和4年度実施部分についても記載した。また、第12期が令和5年12月より開始された。内容は、基礎内容と応用内容に分かれ、応用内容は2年目塾生以上が対象となる。

〈令和4・5年度 第11期～第12期 デパートサミット事業実施報告〉

- ・第1回(松本大学)12月24日(土)
アイスブレイク 仲間づくり
講演「マーケティング塾先輩からの話を聞く会」パネルディスカッション～活動目標～(松商短期大学部2年 降旗千晶他)
講義「マーケティング塾でどのような学びができるか」
- ・オンラインミーティング 1月13日(金)
マーケティング塾高大連携打合せ(バレンタインスイーツについて)
- ・第2回(松本大学、アイシティ 21)1月28日(土)
アイスブレイク、高校の枠を超えた仲間づくり、発表「バレンタインスイーツに向けた商品情報の共有」、
「アイシティ 21」現場視察・報道向け商品発表会
- ・「バレンタインスイーツ ～バレンタインまで待てない～」(アイシティ 21)2月4日(土)～5日(日)
- ・第3回(松本大学)3月18日(土)
講義「地域資源を生かした商品とブランドづくり」(山根宏文)、講演「メタバースについて」(博報堂川島英憲氏)、リーダー研修「地域の大学・高校と企業の連携を考える」(畑井治文)(向井健)、グループ討議「デパートユニットに向けてのコンセプト」
- ・マーケティング塾高大連携打合せ(松本大学)4月15日(土)
- ・第4回(松本大学)4月29日(土)
講義「井上百貨店について」(井上百貨店外商部課長 柳沢信之氏)
講義「デパートゆにの現状分析と今後の重点目標」(諏訪実業高校 目須田威彦教諭)、グループワーク〈デパートサミットの重点目標〉、アドバイス(畑井治文)(向井健)
- ・第5回(松本大学)5月27日(土)
講義「消費者行動とデザイン」(金子能呼)、講義・演習「広報と表現」(クリエイティブラボ 岡田義彦氏)
- ・第6回(松本大学)7月1日(土)
開発商品発表会(商品撮影)開発商品試食会、広報活動(松本市内)
- ・第7回(松本大学)7月29日(土)
講習会「販売員マナー」(井上百貨店 人事部)、講習会「金銭授受とPOP講習」
- ・第9回(松本大学)10月上旬
「マーケティング塾総括とデパートゆにの総括・マーケティング塾修了式」
- ・「第10回全国高校生合同販売デパートゆにの」(井上百貨店)8月26日(土)～8月27日(日)

ii)地域人教育

「地域人教育」は、2012(平成24)年度から飯田長姫高校(当時)が開始し、地域社会に貢献できる「人財」を育成することを目指し、高校生が地域理解を深め、地域での生き方を考え、郷土愛を育む教育プログラムである。2012年度に飯田長姫高校、飯田市、松本大学による「地域人教育の推進に向けての3者の連携協定」を締結し実施している。

1年次は大学教員や地域の専門家による飯田の歴史や地域資源に関する講義と街中を歩いて地域の魅力や課題を把握する「フィールドスタディ」を通じた「地域を知る」、2年次は地域のイベントへの参加や商品開発、情報発信を行う「地域で活動する」、3年次はグループごとに地域課題について地域と連携して解決に取り組む「地域の課題解決に向けて行動する」という3年間で8単位、280時間の正課のカリキュラムによって構成されている。

本年度も昨年を引き続き、松本市街地におけるフィールドワークを実施した。商業科1年を対象として、6月1日(木)に80名の生徒が参加した。飯田OIDE長姫高校にて開催された地域人教育授業ガイダンスやフィールドワークの事前学習会などの講義を実施したほか、地域人教育成果発表会講評を行い、地域人教育推進委員会に本学担当教員が出席した。また、小諸商業高校の教育旅行(フィールドスタディ)に係る講義等の活動として、高校からの依頼によって、11月8日(火)に高校生への講義、そして、11月9日(水)

のフィールドワークの全体説明及びサポートを本学教員の田開寛太郎が行った。なお、専門研究(田開ゼミ)の学生有志も一緒に現地へ引率し、高校生のフィールドワークのサポートを行った。

iii)地域づくり考房『ゆめ』による高大連携教育

高大連携協定に基づき地域づくり考房『ゆめ』と長野県商業教育研究会が共同で主催し、高大連携教育研修会を11月16日(木)に本学にて「経営シミュレーションの体験と商業教育」を実施した。外部講師として経営総合研究所代表取締役の明賀義輝氏および授業実践発表及び指導として長野県南安曇農業高校の小池晃教諭を招聘した。指導コーディネートを松本大学専門員の大野整および倉田吉春が担当し、高校の教員12名が参加した。

②人間健康学部スポーツ健康学科

スポーツ健康学科では、2007(平成19)年度に岡谷東高校との連携についての話し合いが行われ、2008年6月には試行的に高校生が大学の講義を受講し、同年12月に正式に人間健康学部スポーツ健康学科と岡谷東高校との連携協定が締結され、本格的な連携事業がスタートした。試行的な活動も含めれば、今年度は15年目となり具体的には、年2回同校1・2年生の生徒が本学を訪れ、模擬講義の受講およびキャンパスライフ体験を通じて、大学での「学び」や「生活」について理解する「大学授業チャレンジ型連携」と、本学科の学生が岡谷東高校を訪問し、同校の保健体育の授業に参加し、研修を通して高校教育現場を実体験する「教員実務参加型プログラム」がある。

今年度は「大学授業チャレンジ型連携」については下記の通り実施した。実施にあたり、岡谷東高校の保健体育科の清水啓一教諭と連絡を取り合った。また「教員実務参加型」については行われなかった。なお、1月25日(木)に「令和5年度長野県岡谷東高校学習成果発表会」が岡谷市カノラホールにて開催された。第一部において高大連携事業成果発表がなされ、3年健康スポーツコース生徒による発表として、本学との連携事業後の健康スポーツコースの取り組みに関する成果発表が行われた。本学教員の中島弘毅が出席し、岡谷東高校が高大連携をしている大学を代表し挨拶を行った。松本大学へ進学する生徒も挨拶を訪れるなど、高大連携の成果が高校においては学びの充実として、大学においては優秀な学生の安定的な獲得へと繋がっていることが実感された。

また、辰野高校普通科において、令和4年度入学生からスポーツ探究コース導入に伴い、2022年度に本学より3名の教員が授業に赴くことが計画された。コロナ禍という事情により、最終的に2名の教員の実施となった(岩間英明、新井喜代加)。2023年度は実施されなかったが、2024年度は2025年2月に授業を実施する予定となっている(岩間英明)。2022年度まで岡谷東高校の校長であられた茶城啓二氏が2023年度より辰野高校に校長として異動し、連絡を取り合っている。

〈2023年度 岡谷東高校高大連携授業一覧〉

・7月13日(木)

1年生38名/住吉愛里「なぜ熱中症になるの?—どう防ぐ?」、伊藤真之助「良い姿勢ってどんなもの?」
2年生25名/1限、齊藤茂「心理学入門」、新井喜代加「ジェンダーとスポーツ法」

・9月19日(火)

1年生38名/上野隆幸「高卒で働く?それとも大卒で働く?」、中島弘毅「コミュニケーションとチームビルディング」

2年生25名/本間崇教「スポーツビジネス入門」、河野史倫「重力とスポーツ科学」

③人間健康学部健康栄養学科

2021年度から本学助手の石澤美代子が高大連携事業として、木曾青峰高校および田川高校の高校野球部に対して「高校野球年間栄養サポート」の活動を実施している。本年度は、「高校野球年間栄養サポート」の連携に関する協定書の締結が田川高等学校と新たになされた。既にサポート活動を実施している木曾青峰高等学校との協定書は昨年度に締結がなされている。なお、本年度からの取組みとなる岡谷南高等学校との協定書は、本活動における地域連携活動としての取組みとしては意義が大きいものの対象となる高等学校が増え続けることに対する個人的負担超過に対する懸念が健康栄養学科会議にて示され、見送られた。

2023年度の活動内容は以下の通りであった。

- ・木曾青峰高校：4月15日「身体計測・集団講座」(21名)、6月12日「集団栄養講座」(22名)、7月4日「『まつしろ食堂』打合せ」(2名)、7月9日「『まつしろ食堂』夕食コーディネート」(25名)同行学生1名、7月10日「『まつしろ食堂』朝食コーディネート」(25名)、7月19日「3年生引退講座」(7名)、9月30日「新チーム栄養講座・個別面談・体重測定」(25名)同行学生1名、12月16日「補食提案講座」(12名)、3月3日「身体計測」(9名)
- ・田川高校：4月19日「身体計測・集団講座」(15名)、7月2日「集団栄養講座」(16名)、9月14日「新チーム栄養講座」(10名)、12月10日「補食提案講座・身体計測」(8名)同行学生2名、3月20日「身体計測」(8名)
- *熱中症予防等のため、北信越地区高等学校野球長野県大会支部予選会(春季・秋季)、全国高等学校野球選手権長野大会時に、水分補給やエネルギー補給を目的としたスミージーの差し入れを行った。また、両校に対して行った補食の提案のメニューを動画に収め、合同会社アズミックトラックスに依頼しDVDとして制作した。今後の栄養講座等で披露していく予定である。なお、本取り組みは2010年度から地域健康支援ステーションで県内の複数の高校野球部(松本深志高校、諏訪清陵高校等7校)において石澤が年間栄養サポートを実施してきた延長線上に位置するものである。

④教育学部

2024年2月8日から19日にかけて、松商学園高校との高大連携事業の一環として、本学教員の和田順一が同校の2年生3名および本学教育学部の学生を引率し、マルタ大学の語学学校にて短期語学研修を実施した。

⑤松商短期大学部

i) 大学授業チャレンジ型連携

高校の夏休み、春休みを利用して、本学教員の教育資源を活用した大学の経済・ビジネス系等の専門科目の受講および学食利用、教室移動等の具体的なキャンパスライフの疑似体験を通して、高校生の勉学意欲および進学意欲の高揚を図ることを狙いとした連携である。

今年度は8月18日(金)から22日(火)の3日間、3月18日(月)、19日(火)の2日間において、下記内容を対面で実施した。穂高商業高校2年生約60名が参加した。

〈2023大学授業チャレンジ型連携(夏)〉

8月18日(金)：開講式

8月18日(金)：マーケティング①(金子)、情報社会概論①(矢野口)、国際社会特講(柳・糸井)、医療事務入門(浜崎)

8月21日(月)：経営学入門①(飯塚)、財務会計入門①(上田)、UD入門①(廣瀬)、経営分析①(山添)

8月22日(火)：マーケティング②(金子)、金融論入門①(飯塚)、心理学入門①(中山)、キャリアクリエイト①(糸井)

〈大学授業チャレンジ型連携(2024春)〉

3月18日(月)：マーケティング③(金子)、情報社会概論②(矢野口)、経営分析②(山添)、心理学入門②(中山)

3月19日(火)：マーケティング④(金子)、企業論(飯塚)、UD入門②(廣瀬)、松商短大の学び(金子)。

ii) 高校授業グレードアップ型連携

穂高商業高校において簿記を選択している3年生徒を対象として、本学教員2名(上田・山添)が同校に週1回出向いて全経1級レベルの「商業簿記・会計学」「工業簿記・原価計算」の講義を行う取組であり、高いレベルの学習への意欲促進を狙った連携である。昨年度は新型コロナウイルスの影響で休止となったが、2023年度は下記の通り、対面で実施した。

〈高校授業グレードアップ型連携2023〉

4月17日から12月18日の間で全23回実施した。1回から12回を上田が担当した。13回から23回を山添が担当した。詳細は下記の通りである。

1回：4月17日 「2級商業簿記1(有価証券)」

2回：4月24日 「2級商業簿記2(手形取引)」

- 3回：5月8日 「2級商業簿記3(有形固定資産)」
- 4回：5月15日 「2級商業簿記4(無形固定資産・投資その他の資産)」
- 5回：5月22日 「2級商業簿記5(リース取引)」
- 6回：5月29日 「2級商業簿記6(外貨立取引)」
- 7回：6月5日 「2級商業簿記7(税効果会計)」
- 8回：6月12日 「2級商業簿記8(株式会社会計)」
- 9回：6月26日 「2級商業簿記9(本支店会計)」
- 10回：7月3日 「2級商業簿記10(連結会計1)」
- 11回：7月10日 「2級商業簿記11(連結会計2)」
- 12回：7月24日 「2級商業簿記12(商業簿記総合問題演習)」
- 13回：9月4日 「2級工業簿記1(単純個別原価計算の記帳)」
- 14回：9月11日 「2級工業簿記2(部門別個別原価計算の記帳)」
- 15回：9月25日 「2級工業簿記3(工業簿記の財務諸表)」
- 16回：10月2日 「2級工業簿記4(単純総合原価計算と仕損・減損)」
- 17回：10月23日 「2級工業簿記5(組別総合原価計算の記帳)」
- 18回：10月30日 「2級工業簿記6(等級別総合原価計算の記帳)」
- 19回：11月6日 「2級工業簿記7(工程別総合原価計算の記帳)」
- 20回：11月20日 「2級工業簿記8(標準原価計算の差異分析)」
- 21回：12月4日 「2級工業簿記9(個別原価計算の勘定記入・連産品原価計算 etc)」
- 22回：12月11日 「2級工業簿記10(標準原価計算の勘定記入・直接原価計算 etc)」
- 23回：12月18日 「2級工業簿記11(工業簿記総合問題演習)」

iii) 2023年度夏期 法人内高大連携(松商学園高校商業科連携事業)

法人内高大連携事業の一環として、以下の日程で松商学園高校商業科の生徒を受け入れた。当初の計画では、午前の1コマ目、2コマ目に大学講義チャレンジ(ミニ講義体験、60分)を実施し、午後の3コマ目と4コマ目の両時間帯で講義見学を予定していたが、1日目の高校生の状況に鑑み、2日目からの見学は3コマ目のみとした。

詳細は、下記の通りである。

1日目；実施日：6月30日、対象人数：100名、大学講義チャレンジ(ミニ講義体験)：

1限目：金融論入門(飯塚)、2限目：経営分析(山添)、講義見学及び施設見学：心理学、投資と運用、食生活論、旅行業法、コミュニティビジネス、ハングルI、中国語、コンピューター会計、教育心理学

2日目；実施日：7月4日、対象人数：123名、大学講義チャレンジ(ミニ講義体験)：

1限目：マーケティング(金子)、2限目：松商短大の学び(山添)、講義見学及び施設見学：ブライダル産業論、原価計算、華道入門、算数科概論

3日目；実施日：7月5日、対象人数：129名、大学講義チャレンジ(ミニ講義体験)：

1限目：情報専門F紹介(浜崎)、2限目：進路講和(坂内)、講義見学及び施設見学：word入門、マクロ経済学、手話入門、アグリビジネス経済学、スポーツコーチング論

5. 学生センター部門

A：教育活動支援

(1) 全学教務委員会（構成員：委員7名／事務局：8名）

各学部選出委員および教務課職員を構成員とする全学教務委員会は、短期大学部も含めた教学に関わる学部横断的課題・事項に関する審議・決定機関である。日常的には教務関連事項の円滑かつ適切な運営に力を注ぎつつ、教学を巡る学内外の動向を的確に捉え、その充実に必要な諸課題を把握し対応に努めること、および各種報告事項についても適宜取り扱い、情報の全学的共有を図るべく努めている。

今年度(2023年度)もまた、日常的な教務関連事項の円滑な推進に取り組むとともに、それに伴って生じた諸課題について慎重に審議・決定することを中心に、各種報告事項についても適宜・適切に周知を図るべく努めてきた。なお、今年度5月からは、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に移行したため、Teamsの扱いについても協議を重ねながら新しく運用方針を定め、コロナ禍以前の授業運営に近づけた。

以下、「1)今年度実施した事業・活動」として、①安定的な授業運営の実現、②「新・教学システム」へのスムーズな移行、③教育内容・教育方法の点検、④共通教養教育の運営体制の検討、⑤基礎教育センターとの連携、⑥テーマ別教学関連事項、⑦その他日常業務の7点に整理して、今年度の事業・活動状況の概略について記述する。また「2)委員会開催」として、年間を通して開催された各回の会議において審議・承認された事項および主たる報告事項を挙げておく。

1) 今年度実施した事業・活動

①安定的な授業運営の実現

Teamsの取り扱いについて、チャット機能は原則利用しないこととするが、利用する授業については担当教員が学生に周知して利用すること、これまでチームの作成、メンバー登録は事務局側で行っていたが、来年度以降はチームの作成については申請制とし、メンバー登録は教員が行うこととした。学生の持病や緊急時の対応方法について、健康安全センターと情報共有を図るなど、引き続き検討することとした。大雨による一斉休講があったことから、休講連絡のタイミングについて課題が指摘され、今後は公共交通機関の「計画運休」を考慮して決定時期をはかること、また補講日程に余裕がないことから、計画運休した場合の代替日を検討することとした。

②「新・教学システム」へのスムーズな移行

稼働初年度であったが、課題となる点については稼働前に検討し合意形成を図ったこと、事前説明やマニュアルの提示等を行ったことで、大きな混乱も無く移行することが出来た。あわせて、UNIPAの利用促進とその支援を継続することとした。

③教育内容・教育方法の点検

総合経営学部、人間健康学部の「英会話Ⅰ」「英会話Ⅱ」について、適切なクラスサイズでの運用とするため、1クラス体制で開講することとしたが、語学科目のクラスサイズは学生に対する教育効果に配慮し、なるべく少人数での実施が望ましいことが確認された。

学部の留学生対象科目について、2024年度カリキュラムより現行の4科目から「日本事情」を廃止し、3科目とすることとした。また、留学生に準ずる学生にも聴講を認めることとした。

④共通教養教育の運営体制の検討

「海外研修Ⅱ」の実施方法について検討を重ね、「海外研修Ⅰ」は「海外研修Ⅱ」の3プログラムを含めた4プログラム構成とし、それ以外で学生が独自に留学先を見つける場合は「海外研修Ⅱ」で単位認定することとした。単位認定を行う学部においては、科目担当者や設置基準上単位認定に必要な事項を踏まえたうえで講義内容を組み立てることとした。本科目は引き続き共通教養科目として設置する。担当者が定年を迎える科目について、後任の検討を重ねたが、「芸術文化」については年度内に担当者の決定に至らなかった。「日

本文化]については、現在2クラス開講としているところを1クラス開講とし、非常勤講師の担当へと変更した。「松本大学と地域」については、ワーキンググループを立ち上げ、全学的に共通させる授業内容を定め、さらに理念科目として3学部5学科それぞれの特色を反映させた授業内容の構成とすることとした。懸念事項として、共通教養科目を担当する教員の退職に伴い、専任教員が継続して科目を担当することが難しいケースが発生していること等も指摘されているため、2025年度以降の共通教養科目の方向性や運用方法について、審議の場も含めて検討することとした。「キャリアデザインⅡ」について、担当している非常勤講師からの交代依頼があり、来年度については別の非常勤講師に引き続き依頼するものの、それ以降についてはキャリア系科目全般のあり方について、全学就職委員会、キャリアセンター、各学部学科と協力しながら検討を進める。

⑤基礎教育センターとの連携

本項目については、基礎教育センター運営会議にて検討を重ね、各学部学科において必要とされる基礎学力向上のための支援について検討することが依頼された。基礎教育センターの運営方法については、専門員の配置を含め、別途検討が必要である。

⑥テーマ別教学関連事項

i) キャリア教育

正課科目として単位化されて3年目となる「インターンシップ」については、215(139)名の履修者中140(86)名が実際にインターンシップに参加することとなった(()内昨年の数字)。新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、履修者数は大幅に増加した。今後も「インターンシップ」の実施体制を含め、キャリア教育の充実のため、就職委員会との連携を図る。

ii) 学部・学科横断型教育(学修)プログラム

大学全体として学生の学びの幅を広げるため「学部・学科横断型教育(学修)プログラム」の充実を図った。具体的には、昨年度までに開講している、「公共政策教育プログラム」、「6次産業化マネジメントプログラム」に加え、今年度から3つ目のプログラムとして「共生社会実現のための統合プログラム」を導入した。しかし、プログラムを正式に申請したのは総合経営学部総合経営学科1年生の1名のみであった。オリエンテーション時にプログラムについて紹介する時間を設けているが、履修希望者の掘り起こしが十分でなく、今後は本プログラムの拡充と学生にとって対象科目を申請しやすい環境構築を目指す。

iii) 「地域防災科学研究所」設置に伴う防災士科目の配置

防災士の資格取得を全学的に推進するため、昨年、観光ホスピタリティ学科で開講されている資格関連科目の配置調整を行った結果、今年度は健康栄養学科を除くすべての学科で資格関連科目の履修があった(延べ498名)。防災士資格試験の合格者は63名であった。また、前期オリエンテーションにおいて防災士科目は年間6単位までしか履修する事ができず、4年次から防災士資格を目指しても取得できないことについての周知が漏れていたため、今年度に限り、特例で履修上限を超えての他学部・他学科履修を認めることとした。なお、前期2科目を取得している4年生については全ての対象者を洗い出し、不公平がないよう対応する。次年度以降については、防災士科目も他学部・他学科科目である事の周知徹底と資格申請を義務付けて資格取得希望者の管理を行うこととした。

⑦その他日常業務

- ・年間予定表の検討
- ・各種オリエンテーションの実施内容の検討
- ・プレイスメントテストの実施・分析
- ・欠席調査の実施
- ・成績発表後の成績不振者に対する全学的対応の共有及び指導記録の整理
- ・オフィスアワー実施記録の提出催促
- ・次年度の各学部カリキュラムと時間割の情報共有及び兼任依頼などに関する調整
- ・シラバスの点検作業

2) 委員会開催

第1回 4月26日(水)16:50~18:00 欠席なし

[審議事項]

- ①2023年度の課題
- ②「インターンシップ」の履修抹消
- ③その他

[報告事項]

- ①全学共通教養科目の履修状況
- ②学部学科横断型教育(学修)プログラム申請状況
- ③欠席調査
- ④TOEIC対策講座
- ⑤2022年度卒業状況
- ⑥授業目的公衆送信保証金制度(サートラス)報告書の提出
- ⑦非常勤講師の交通費の見直し案
- ⑧2023年度 団体受験検定試験予定
- ⑨2023年度教務課体制
- ⑩2023年度前期全学教務委員会開催日程

第2回 5月31日(水)16:50~18:30 欠席なし

[審議事項]

- ①Teamsの扱い
- ②2024年度年間予定表
- ③大学部の留学生対象科目の今後の方針
- ④「海外研修Ⅱ」の募集や単位認定
- ⑤人間健康学部 特別講師申請
- ⑥学生の体調不良時の緊急対応
- ⑦その他

[報告事項]

- ①アセスメントポリシーの変更
- ②全学共通教養科目を担当する定年を迎える教員
- ③前期定期試験アンケート、および実施方法(学部)
- ④プレイスメントテスト結果
- ⑤前期履修抹消
- ⑥授業アンケート
- ⑦アウトキャンパス申請書の書式変更と今後の運用
- ⑧2023年度後期オリエンテーション
- ⑨コロナ対応

第3回 6月28日(月)16:50~18:55 欠席なし

[審議事項]

- ①2024年度のTeamsの扱い
- ②2024年度年間予定表
- ③大学部の留学生対象科目の今後の方針
- ④「海外研修Ⅱ」の募集や単位認定
- ⑤共通教養科目を担当する定年を迎える教員
- ⑥生成AI
- ⑦その他

〔報告事項〕

- ①前期試験
- ②共通教養科目の認定と担当者未定科目の方針
- ③後期復学相談
- ④出欠登録・オフィスアワー実施記録の徹底後期復学相談
- ⑤2023年度後期オリエンテーション
- ⑥2022年度各種アンケート自由記述のまとめ
- ⑦次年度準備
- ⑧その他

第4回 7月26日(水)16:50~10:50 欠席なし

〔審議事項〕

- ①2024年度のTeamsの扱い
- ②2024年度年間予定表
- ③大学部の留学生対象科目の今後の方針
- ④「海外研修Ⅰ・Ⅱ」の内容
- ⑤共通教養科目の担当者未定科目の方針
- ⑥「キャリアデザインⅡ」の今後の方針
- ⑦健康栄養学科の再試験要件
- ⑧その他

〔報告事項〕

- ①共通教養科目を担当する定年を迎える教員の科目
- ②2023年度前期出欠席登録
- ③2024年度兼任依頼
- ④2023年度前期末授業アンケート依頼
- ⑤2024年度カリキュラム編成に係る日程
- ⑥2023年度後期からの座席指定
- ⑦2023年度後期履修関係日程
- ⑧2023年度後期全学教務委員会日程
- ⑨次年度準備

第5回 8月30日(水)16:50~18:07 欠席なし

〔審議事項〕

- ①「英会話Ⅲ」および「英会話Ⅳ」担当候補者
- ②2024年度のTeamsの扱い
- ③大学部の留学生対象科目の今後の方針
- ④「海外研修Ⅰ・Ⅱ」の内容
- ⑤「キャリアデザインⅡ」の今後の方針
- ⑥共通教養科目を担当する定年を迎える教員の科目
- ⑦2024年度兼任依頼

〔報告事項〕

- ①2023年度改革総合支援事業
- ②2023年前期期末授業アンケート結果
- ③次年度準備

第6回 9月26日(火)9:00~10:00 欠席なし

〔審議事項〕

- ①「キャリアデザインⅡ」担当候補者

- ②2024年度各学部のカリキュラムおよび時間割検討状況
- ③2024年度兼担(兼任)依頼
- ④防災土科目の現4年生の他学部・他学科履修上限単位数超過

[報告事項]

- ①「松本大学と地域」
- ②「海外研修Ⅰ・Ⅱ」の内容
- ③学部・学科横断型教育(学修)プログラム
- ④後期履修状況
- ⑤教職課程履修者状況
- ⑥欠席調査
- ⑦「英会話Ⅲ・Ⅳ」担当候補者
- ⑧9月学位授与式
- ⑨授業アンケート実施方法
- ⑩2024年度松本大学シラバス入稿の手引き
- ⑪短期大学部2024年度年間予定表
- ⑫次年度準備

第7回 10月24日(火)9:40~11:00 欠席なし

[審議事項]

- ①2024年度カリキュラム案
- ②2024年度時間割表案
- ③2024年度兼担(兼任)依頼
- ④2024年度転学部・転学科試験要項
- ⑤数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度
- ⑥シラバス入稿添付書類
- ⑦2022年度開講科目GPA分析資料(IR)

[報告事項]

- ①『キャリアデザインⅡ』担当候補者
- ②『松本大学と地域』
- ③2023年度後期科目の履修抹消状況
- ④後期授業アンケート
- ⑤授業目的公衆送信補償金制度(サートラス) 利用実績の登録
- ⑥教室設備の管理
- ⑦次年度準備
- ⑧その他

第8回 11月21日(火)9:40~10:30 欠席なし

[審議事項]

- ①共通教養科目の担当者
- ②2024年度転学部・転学科試験要項
- ③履修者数制限希望申請書
- ④2024年度資格取得奨励金
- ⑤2024年度教務委員会スケジュール
- ⑥「松本大学と地域」
- ⑦2024年度科目等履修・聴講

[報告事項]

- ①2024年度 カリキュラム案および時間割表案

- ②「情報処理Ⅴ(データ分析)」時間割調整
- ③次年度準備
- ④その他

第9回 12月19日(火)9:40~10:30 欠席なし

〔審議事項〕

- ①共通教養科目の担当者
- ②2024年度資格取得奨励金
- ③2024年度科目履修・聴講
- ④2023年度補正予算・2024年度予算

〔報告事項〕

- ①2024年度 カリキュラムおよび時間割表案
- ②就職活動に伴う証明書の発行、券売機休止期間
- ③復学相談
- ④後期試験
- ⑤各種オリエンテーション日程
- ⑥後期期末授業アンケート
- ⑦次年度準備
- ⑧その他 授業料未納学生への対応について 教育学部からのゼミ実施についての報告

第10回 1月23日(火)9:40~10:30 欠席なし

〔審議事項〕

- ①履修者数制限希望申請
- ②適正な出欠管理

〔報告事項〕

- ①2024年度予算
- ②2024年度時間割表案
- ③2024年度カリキュラムツリー・履修モデル
- ④授業料未納学生への対応
- ⑤2024年度シラバス入稿および内容の点検
- ⑥成績不振者の全学的な対応および指導記録・OH実施記録
- ⑦Teams作成申請書(予定)
- ⑧次年度準備
- ⑨その他

第11回 2月20日(火)9:40~10:05 欠席1名

〔審議事項〕

- ①2024年度前期 合同企業説明会開催による第一体育館の使用調整依頼
- ②「インターンシップ」の履修抹消

〔報告事項〕

- ①2024年度時間割表
- ②授業料未納学生への対応
- ③2023年度に作成したTeamsのチーム削除
- ④他学科免許履修支援プログラムの履修許可者
- ⑤次年度準備
- ⑥その他

第12回 3月19日(火)9:40~10:00 欠席1名

〔審議事項〕

①2024年度前期 一部共通教養科目の開講方法

〔報告事項〕

①2024年度前期 合同企業説明会開催による第一体育館の使用調整結果

②Teamsのチームへの学生登録方法

③数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度

④その他

(2) 公務員試験対策講座運営委員会 (構成員：教員6名・職員4名 計10名)

本委員会は教員6名(委員長1名、各学部1名、短大部1名)と職員4名によって構成され、公務員を目指す学生を支援することを目的とし、(株)東京リーガルマインド(LEC)と提携した公務員試験対策講座の実施・運営について検討を行うものである。

1) 委員会開催

第1回 メール会議

〔報告事項〕

①2023年度公務員試験対策講座受講者数について

②昨年度からの講座変更点について

③2023年度公務員採用試験受験・合格状況について

第2回 12月12日(火)

〔審議事項〕

①次年度の講座編成について

②学生向けパンフレットについて

〔報告事項〕

①2023年度公務員試験対策講座受講者数について

②2023年度公務員採用試験受験・合格状況について

2) 事業活動

①対策講座ガイダンス

受講者の募集に関して、(株)東京リーガルマインド(LEC)の協力のもと、学生向けパンフレットの作成・配布、各学部オリエンテーションやキャリア系科目内での周知徹底を図った。

②(株)東京リーガルマインド(LEC)と提携した公務員試験対策講座

受講者数は113名と、昨年度(109名)とほぼ同様の数字となった。また、2019年度より実施している個人面談や面接対策についても引き続き実施した。今年度の個人面談は延べ55名、面接対策は延べ73名の受講者が利用した。

講座名	受講者数
民間・公務員〈SPI〉	27
教養(基礎)	35
教養(発展)	14
短大直前対策	9
専門	12
学部直前	16
計	113

費用に関しては、受講料収入が4,258,800円と当初見積もりより約75万円減少した。これは、見積もり時における想定よりも受講者数が伸びなかったことによるものである。一方、支出は8,060,800円であり、当初見積もりよりも約68万円減少している。これは、個人面談や面接対策に係る費用が減少したこと、教材送料が不要となったためである。結果、収支差額3,802,000円となり、大学負担は昨年度よりも約50万円の減となった。

講座運営の結果として、2023年度卒業生における採用試験合格者18名、講座受講者数14名であり、割合は77.8%となった。ここ3カ年度は連続して講座受講者数/採用試験合格者数が75%を超え、対策講座実施の実績が定着してきたように思われる。

なお合格者の合格先をみると、国立大学法人や松本市、安曇野市に加え、県内町村、自衛隊や長野県警といった公安職など、多岐にわたって合格者が出ている。

(3) 全学教職センター運営委員会

1) 会議開催

①全学

・全学教職センター運営委員会(全6回)

4月14日(金)～4月18日(火)メール審議、6月20日(火)、8月8日(火)～8月17日(木)メール審議、9月26日(火)、11月6日(月)～11月8日(水)メール審議、12月11日(月)～12月14日(木)メール審議

・教職課程自己点検評価委員会(全1回)

10月12日(木)

・専門員連絡会(全6回)

4月19日(水)、5月31日(水)、11月21日(火)、1月24日(水)、2月20日(火)、3月14日(木)

②総合経営学部・人間健康学部

・教職センタースタッフ会議(全12回)

4月12日(水)、5月9日(火)、6月6日(火)、7月4日(火)、8月1日(火)、9月5日(火)、10月3日(火)、11月7日(火)、12月5日(火)、1月9日(火)、2月6日(火)、3月5日(火)

・総経・人間教職センター会議(全3回)

4月6日(木)～4月10日(月)メール審議、8月8日(火)～8月17日(木)メール審議、12月5日(火)

③教育学部

・教育学部教職センター会議(全16回)

4月5日(水)、4月11日(火)～4月12日(水)メール審議、5月10日(水)6月7日(水)、6月14日(水)臨時、7月5日(水)、8月2日(水)、9月6日(水)、10月4日(水)、10月18日(木)～10月20日(金)メール審議、10月30日(月)～11月6日(月)メール審議、12月1日(金)、12月25日(月)、2月5日(月)、2月16日(金)～2月21日(水)メール審議、3月4日(月)

・学校ボランティア活動担当者会議(全2回)

4月4日(火)、9月13日(水)

・学校インターンシップ科目担当者会議(全2回)

5月31日(水)、12月14日(木)

・特別支援教育科目担当者会議(全11回)

4月5日(水)、5月31日(水)、6月28日(水)、7月26日(水)、8月31日(木)、9月28日(木)、10月19日(木)、11月28日(火)、1月16日(火)、2月20日(火)、3月12日(火)

2) 2024年度公立学校教員採用試験結果

(現役生)

・総合経営学部・人間健康学部

長野県 小学校 1名 北海道 小学校 2名

長野県 養護教諭 1名

以上 総合経営学部2名、人間健康学部2名 合格

・教育学部

長野県 小学校教諭 8名

新潟県 小学校教諭 4名

埼玉県 小学校教諭 3名

神奈川県 小学校教諭 2名

東京都 小学校教諭 1名

栃木県 小学校教諭 1名

山梨県 小学校教諭 2名

石川県 小学校教諭 1名

長野県 中学校(英語) 1名

長野県 特別支援学校 2名

以上 教育学部25名(延べ人数) 合格

3) 補欠合格者

長野県小学校 5名

4) 3年次

千葉県小学校 一次合格 1名

神奈川県特支 二次合格 1名

5) 教育実践記録集

①教育実践記録集(6名)

中山 厚志(軽井沢町立軽井沢中部小学校)

「スクラッチを使った小学校プログラミング教育実践例」

小林 真(塩尻市立塩尻西部中学校)

「持続可能な地域社会の担い手となる人材育成に向けて～キャリア教育の視点からのアプローチ～」

二村 俊(長野県松本養護学校)

「見ている・見えているとは・・・～視線入力機器を用いてみて～」

藤井 篤徳(箕輪町立箕輪中学校)

「言葉と向き合う俳句の創作・鑑賞の授業作り」

先 皇太(長野県田川高等学校)

「情報Iにおける『3種の知識』の理論を意識した情報モラル教育の実践

～新聞活用教育(NIE)の視点を取り入れて～」

熊谷 拓真(伊那市立高遠小学校)

「教え込みの算数の筆算の授業からの脱却

～ICTを使った单元内自由速度学習によって個別最適な学びにできるか～」

6) 教員免許状取得数

校種	教科	総経	観光	栄養	スポーツ	学校	大学院	計
小学校			2		2 (※1)	81		83
中学校	社会		3			6 (※1)		9
	保健体育				19			19
	保健				4			4
	英語					4		4
高校	公民		2					2
	地理歴史							0
	情報	2						2
	商業	2						2
	保健体育				19			19
	保健				4			4
	英語					4		4
養護教諭					5		5	
栄養教諭				4			4	
特別支援(知・肢・病)						25		25
計		4	5	4	53	120		186

※1…二種免

7) 教育実習実施者数

学部	学科	3年人数	4年人数
総合経営	総合経営		3
	観光ホスピタリティ		2
人間健康	健康栄養		4
	スポーツ健康		24
教育	学校教育	76	36
計		76	69

8) 全国私立大学教職課程研究連絡協議会等主催の諸活動への参加

- 5月14日(日) 関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会 2023年度定期総会、合同研究大会(オンライン) (吉原・後小路)
- 5月20日(土) 全国私立大学教職課程研究連絡協議会 第42回研究大会プログラム(オンライン) (吉原・後小路)
- 7月16日(日) 関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会 2023年度研究部総会、第1回研究部会および第1回研究懇話会(オンライン) (吉原・後小路・河合)
- 9月2日(土) 京都地区私立大学教職課程研究連絡協議会オンライン研修会(川久保・河合)
- 11月18日(土) 全国私立大学教職課程協会 2023年度教職課程運営に関する研究交流集会(吉原)
- 12月10日(日) 関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会 2023年度第2回研究懇話会(オンライン) (吉原)
- 12月21日(木) 関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会 研究部第3部会第3回研究会(オンライン) (吉原)
- 2月8日(木) 2023年度第2回関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会 北部地域協議会(オンライン) (吉原)

3月21日(木) 関東地区私立大学教職課程研究連絡協議会 研究部第5部会第4回研究会(オンライン)(後小路)

9) 教職センター活動

- 4月7日(金) 東京アカデミー 教採模試
- 4月12日(水) 介護等体験ガイダンス①(3年生)
- 4月13日(木) 4年生教育実習ガイダンス
- 4月19日(水) 長野県義務教育課説明会 開催
- 5月8日(月)～ 2023年度教育実習開始(4年生)
- 5月8日(月) 協同出版セミナー 2023「優秀な教員志望者を増やす総合政策を考える」
参加(吉原・松原・佐藤茂・河合)
- 5月11日(木) 松本市教育委員会ご挨拶(吉原・松原・川久保・河合)
- 6月1日(木) 上越教育大学大学院大学推薦説明会 開催(前期)
- 6月15日(木) 上越教育大学大学院説明会 開催
- 6月19日(月) 1年生教職ガイダンス(総経・観光・栄養)
- 6月21日(水) 介護等体験ガイダンス②(3年生)
- 6月26日(月) 1年生教職ガイダンス(スポーツ)
- 7月1日(土)・7月2日(日) 長野県教員採用試験第一次選考
- 7月13日(木) 教員採用試験第一次選考報告会(3～4年生)
- 7月24日(月) 長野県立高等学校教員採用試験第一次選考合格発表
- 7月25日(火) 長野県小学校、中学校、特別支援学校教員採用試験第一次選考合格発表
- 7月27日(木)・8月3日(木) 教員採用試験第二次選考対策講座 開催(4年生)
- 8月28日(月) 特別支援学校における介護等体験開始
- 8月30日(水) 上越教育大学大学院大学推薦説明会 開催(中期・後期)
- 9月19日(火)・9月20日(水) 1～4年生 後期オリエンテーション 教職センターガイダンス
- 9月21日(木) 長野県教員採用試験第二次選考合格発表
- 9月22日(金) 1年生教職履修指導・履修計画
- 9月25日(月) 社会福祉施設における介護等体験開始
- 9月28日(木) 臨時採用講師登録説明会 開催(4年生)
- 10月3日(火) 令和5年度教職課程認定基準等の改正に関する事務担当者説明会 参加(オンライン)(川久保・河合)
- 10月10日(火)～ 教育実践記録集応募開始
- 10月19日(木) 長野県教育委員会教員免許年度末一括申請説明会 参加(オンライン)(川久保・河合)
- 10月19日(木) 外部講師(時事通信出版部)による教採対策講座(2～4年生)
- 10月26日(木) 先輩教諭による教育実習事前指導(3年生)
- 11月9日(木) 教員免許一括申請説明会 開催(4年生)
- 11月9日(木)・16日(木)・23日(木) 教育実習報告会(3～4年生)
- 11月14日(火) 2023年度臨採講師希望者名簿の配布・説明(巻山)
- 12月2日(土) 時事通信出版局 教採模試
- 12月5日(火) 他学科免許履修支援プログラム説明会 開催(1年生)
- 12月12日(火) 明星大学通信教育部免許取得支援プログラム説明会 開催(1年生)
- 12月20日(水) 令和5年度教職課程認定等に関する事務担当者説明会 参加(オンライン)(川久保・河合)
- 12月21日(木) 教育実習前CBT試験(3年生)
- 12月21日(木) 教職課程履修2年次生ガイダンス
- 1月6日(土) 2023年度卒友会開催(参加者：卒業生12名、学生2名、教職員18名)

- 1月17日(水) 明星大学免許取得支援プログラム手続き説明会 開催(1年生)
- 1月18日(木) 教採報告会(1～4年生)
- 1月19日(金) 履修カルテ説明会 開催(1年生)
- 1月24日(水)～ 教職科目シラバスチェック
- 2月5日(月)～2月7日(水) 東京アカデミー 教員採用試験対策集中講座
- 2月13日(火)～ 1年生 教職課程履修申請 受付開始
- 2月19日(月) 東京アカデミー 教採模試
- 2月20日(火)・21日(水) 教採対策「模擬授業・場面指導」講座
- 2月22日(木) 松本市教育委員会ご挨拶(吉原・松原・河合)
- 3月1日(金) 赴任直前講座 開催
- 3月6日(水) 長野県教採大学推薦説明会 開催(オンライン)(川久保・河合)
- 3月25日(月) 新年度オリエンテーション(総経・人間)新4年生
- 3月26日(火) 新年度オリエンテーション(総経・人間)新2年生
- 3月27日(水) 新年度オリエンテーション(総経・人間)新3年生
- 3月28日(木) 教採対策一日講座 開催

【教育学部ガイダンス】

- 4月6日(木) 1年生新入生オリエンテーション教職ガイダンス
- 4月7日(金) 学内教員採用模擬試験(東京アカデミー)
- 4月10日(月) 4年生ガイダンス(講師登録説明会)
- 4月19日(水) 長野県教員採用試験説明会
- 4月26日(水) 1年生教職ガイダンス(教員免許の取得、実習系活動について)
- 6月1日(木) 上越教育大学大学院機関長推薦説明会
- 6月14日(水) 1年生教職ガイダンス(履修コースについて)
- 6月15日(木) 上越教育大学大学院説明会
- 6月21日(水) 1年生学校ボランティア活動ガイダンス①
- 6月21日(水) 3年生学校インターンシップⅡ事前指導①
- 6月22日(木) 2年生学校インターンシップⅠ事前指導①
- 6月28日(水) 3年生学校インターンシップⅡ事前指導②
- 6月29日(木) 2年生学校インターンシップⅠ事前指導②
- 7月1日(土) 長野県教員採用試験第一次選考
- 7月5日(水) 1年生学校ボランティア活動ガイダンス②
- 7月5日(水) 1年生学校インターンシップガイダンス
- 7月5日(水) 3年生学校インターンシップⅡ事前指導③
- 7月6日(木) 2年生学校インターンシップⅠ事前指導③
- 7月13日(木) 2年生学校インターンシップⅡガイダンス
- 7月19日(水) 3年生学校インターンシップⅡ事前指導④
- 7月20日(木) 2年生学校インターンシップⅠ事前指導④
- 7月20日(木) 3年生特別支援学校教育実習内諾訪問ガイダンス
- 7月24日(月) 4年生教職ガイダンス(講師登録について)
- 7月26日(水) 2年生ガイダンス講義(教職履修カルテ説明会)
- 7月26日(水) 1年生ガイダンス講義(教職履修カルテ説明会)
- 8月30日(水) 上越教育大学大学院機関長推薦説明会
- 9月19日(火) 1・2年生後期オリエンテーション教職センターガイダンス
- 9月20日(水) 3・4年生後期オリエンテーション教職センターガイダンス
- 10月4日(水) 学校インターンシップⅠ報告会

- 10月4日(水) 学校インターンシップⅡ報告会
- 10月4日(水) 4年生ガイダンス講義(講師登録説明会)
- 10月11日(水) 2年生学校インターンシップⅡガイダンス①
- 10月18日(水) 1年生学校インターンシップⅠガイダンス①
- 10月19日(木) 外部講師(時事通信出版局)による教採対策講座
- 11月1日(水) 4年生教員免許状年度末一括申請説明会
- 11月8日(水) 1年生教職ガイダンス(履修コース説明会)
- 11月14日(火) 教員採用試験受験報告会
- 11月22日(水) 2年生学校インターンシップⅡガイダンス②
- 11月29日(水) 4年生教員免許状年度末一括申請手続き
- 12月2日(土) 2～4年生学内教員採用模擬試験(時事通信出版局)
- 12月6日(水) 4年生ガイダンス講義(講師登録説明会)
- 12月6日(水) 1年生学校インターンシップⅠガイダンス②
- 12月13日(水) 1年生ガイダンス講義(教採模試説明会)
- 12月20日(水) 2年生学校インターンシップⅡガイダンス③
- 12月20日(水) 1年生学校インターンシップⅠガイダンス③
- 1月17日(水) 1年生ガイダンス講義(教職履修カルテ説明会)
- 1月17日(水) 1年生学内教員採用模擬試験(東京アカデミー)
- 2月5日(月) 教員採用試験対策集中講座(東京アカデミー)①
- 2月6日(火) 教員採用試験対策集中講座(東京アカデミー)②
- 2月7日(水) 教員採用試験対策集中講座(東京アカデミー)③
- 2月19日(月) 学内教員採用模擬試験(時事通信出版局)
- 3月1日(金) 赴任直前講座
- 3月6日(水) 長野県教員採用試験大学推薦説明会
- 3月25日(月) 新年度オリエンテーション 新4年生
- 3月26日(火) 新年度オリエンテーション 新2年生
- 3月27日(水) 新年度オリエンテーション 新3年生
- 3月29日(金) 入学前セミナー

【教育学部 訪問・依頼・説明】

- 4月24日(月) 安曇野市教育委員会 訪問(樋口・西川・河合)
- 4月27日(木) 長野県特別支援学校校長会幹事会 出席(矢野口)
- 4月28日(金) 塩尻市教育委員会 訪問(樋口・村上・河合)
- 5月8日(月) 協同出版セミナー 出席(吉原・松原・佐藤・河合)
- 5月9日(火) 長野県特別支援学校校長会 出席(樋口・矢野口)
- 5月9日(火) 松本市校長会 出席(松原・田澤)
- 5月11日(木) 松本市教育委員会 訪問(吉原・松原・川久保・河合)
- 5月18日(木) 飯田短期大学 訪問(秋田・滝澤・河合)
- 5月19日(金) 長野市教育委員会・長野県教育委員会訪問(岸田・樋口・田澤・河合)
- 5月22日(月) 安曇野市校長会 出席(佐藤・西川)
- 5月23日(火) 塩筑校長会 出席(大蔵・村上)
- 7月13日(木) 塩尻市立桔梗小学校 訪問(樋口・佐藤・田澤・河合)
- 8月2日(水) 塩尻市教育委員会 訪問(樋口・河合)
- 8月25日(金) 飯田短期大学 訪問(秋田・大蔵・滝澤・河合)
- 10月13日(金) 信州大学教育学部 訪問(秋田・和田・河合)
- 1月26日(金) 長野県特別支援学校校長会 出席(樋口・矢野口)

- 2月8日(木) 安曇野市校長会 出席(佐藤・西川)
- 2月9日(金) 塩筑校長会 出席(大蔵・村上)
- 2月9日(金) 長野市教育委員会 訪問(樋口・河合)
- 2月9日(金) 長野県教育委員会 訪問(樋口・河合)
- 2月15日(木) 安曇野市教育委員会 訪問(樋口・西川)
- 2月15日(木) 上田市教育委員会 訪問(松原・田澤)
- 2月16日(金) 松本市校長会 出席(松原・田澤)
- 2月20日(火) 塩尻市教育委員会 訪問(樋口・村上)
- 2月22日(木) 松本市教育委員会 訪問(松原・吉原・河合)

【教育学部 その他】

- 5月25日(木)～ 3年生初等教育実習参観訪問開始
- 6月12日(月)～ 4年生特別支援学校教育実習参観訪問開始
- 6月14日(水)～ 4年生中等教育実習(英語)参観訪問開始
- 7月6日(木)～ 2年生介護等体験開始
- 1月29日(月)～ 1年生次年度学校インターンシップⅠ内諾訪問開始
- 2月1日(木)～ 2年生次年度学校インターンシップⅡ内諾訪問開始

(4) 情報センター運営委員会

情報センターでは、主に研究・教育へのICT支援、情報機器の維持・管理、セキュリティ対策といった3つの業務を担い実施してきた。

①研究・教育へのICT支援

オンライン授業環境の支援、ソフトウェアライセンスの見直しと管理、オリエンテーション実施

②情報機器の維持・管理

ネットワーク、サーバ類の維持管理、教職員PCの管理、貸出ノートPCの管理

③セキュリティ対策

防御システムの維持管理、組織的な体制の整備と運営

情報センターの業務方針を定めている運営委員会は、5月、7月(メール審議を含め2回)、10月、1月の計5回が開催された。委員会では上記3つの業務に関わる事項について議論した。以下に、これらについて報告する。

①ネットワーク環境の改善

10Gbpsの性能を持つSINET回線を有効活用するため、学内LANの光ケーブルの敷設と通信機器の更新工事を実施する。2023年度は、2号館-4号館の光ケーブル敷設工事と2号館、6号館、7号館、8号館の通信機器(基幹スイッチ)の更新を行った。

②PC教室のリプレイス

計画に基づいて321教室を対象にPCの入れ替えとシンクライアントの設定作業を行った。また、学生アンケートで特定教室のキーボードの使い勝手が悪いとの意見が複数みられたため、その対応として211、212教室のキーボードをキータッチのしやすいものに新規交換した。

③管理コストの見直し

各研究室に設置しているカラーレーザープリンタは、保守対象とならないリサイクルトナーを使用している。そのため、保守契約を結ぶことはしていなかったが、モデルチェンジした機種がトラブルが続出したため、各研究室の印刷実績を調査した上で印刷実績の低いプリンタを保守対応可能な他社製品に入れ替えた。旧型機種については、これまで通り保守契約を結ばず、故障時には他社製品に交換した際の旧機種をバックアップ機として利用することで対応した。

情報センターが管理しているソフトウェアライセンスのうち、Zoomの有料ライセンスの見直しを行った。大学が契約しているライセンスの他に高校でもライセンスを契約していることがわかり、これらのライセンスを整理して学園全体で共用する形で運用することでコストを削減した。

④セキュリティ対策

学内システムであるMicrosoft365とスマートセッションについて、ユーザパスワードの強化としてパスワード設定ルールを新たに設定し、それまでのパスワードを10桁以上に変更するようにしていたが、なかなか徹底されていなかったことから再度の変更を案内するとともに、Ridoc、eKeihiも同様の設定依頼をしてパスワード管理の徹底を促した。

また、標的型メールへの対策として、他機関からの送付を装ったメールを情報センターから全教職員に送信し、メールやリンク先の開封の有無などをチェックする攻撃シミュレーション訓練を実施した。

その他、現状に合わせたセキュリティ関連の内規を整理した。

(5) 図書館運営委員会

1) 組織

大学院総合経営研究科1名、総合経営学部教員2名(館長兼務)、人間健康学部教員2名、教育学部教員1名、短期大学部教員1名、事務局2名・業務委託7名

2) 委員会開催

5月16日(火)16:50~17:45

- ①学生の図書延滞者の督促ルールの変更について承認された。
- ②新型コロナウイルス対応について、これまでの図書館の対応が報告された。
- ③2022年度利用統計、2023年度活動計画が報告された。
- ④2022年度自己点検評価・報告書及びアニュアルレポートの内容が報告された。
- ⑤教職員の延滞について報告され、返却の見込みがない場合は実物で弁償いただくことを確認した。
- ⑥2023年度前期学科別学生図書の選定を行うことの報告と依頼がなされた。
- ⑦1階電動書架におけるカビ菌検査の推移が報告された。

7月4日(火)16:50~17:20

- ①4月~5月の統計および活動報告がなされた。
- ②図書館購読雑誌等の見直しについて、7月に各教員へアンケート調査を依頼することが報告された。
- ③学科別学生用図書の選定について、全学科から提出されたことが報告された。
- ④図書館の利用を活発化するための方策について意見交換がなされた。

9月26日(火)16:50~17:40

- ①購読雑誌等の見直しについて審議し、「法情報総合データベース」については「判例体系」のみの契約として金額を抑制すること、また、継続・新規購入する雑誌等について承認された。
- ②6月~8月の活動および統計報告がなされた。
- ③後期学科別学生用図書選定について、取りまとめの依頼がなされた。
- ④1階電動書架におけるカビ菌検査の推移について報告された。カビ菌の目標管理指針として示されている数値が妥当なものであるか、調査するよう要望が挙げられた。
- ⑤利用促進、今後の予算管理などについて意見交換がなされた。

1月16日(火)16:50~17:30

- ①データベースの利用頻度調査結果が報告され、利用状況とコストパフォーマンスについて説明がなされた。利用頻度に改善の見通しが無い場合は、将来的に契約の見直しを図る必要性があることを確認し、今後の積極的な利用を促すこととした。
- ②2階のグループ学習室に代わり、3階の視聴覚コーナーをグループ学習室にする案が示され、承認された。それに伴い、入口にドアを設置する工事が必要となることが報告された。

- ③9月～12月の活動および統計報告がなされた。
- ④今後の予定について、司書科目の実習、新年度準備などを行うことが報告された。

3) 事業・活動内容

- ①図書館運営・サービスの方針及び計画の審議
- ②図書館利用の促進
- ③学科別図書の選定、および取りまとめ
- ④雑誌・データベースの購読・契約に関する審議

4) 図書館サービス・図書館利用促進業務

①2023年度利用実績

開館日数	入館者数(延べ)	貸出者数	貸出冊数	視聴覚資料利用
270日	47,784人	6,665人	11,480冊	117人

②図書館オリエンテーション・ガイダンス

- ・ 新生図書館オリエンテーション(約10分)：4月5日(水)・6日(木)
- ・ 後期オリエンテーション(約10分)：8月1日(火)短大2年生、9月20日(水)学部4年生
- ・ 在学生図書館オリエンテーション：3月25日(月)・26日(火)・27日(水)資料配布のみ
- ・ 図書館ガイダンス：図書館での資料の探し方・OPACの使い方説明
 - [学校教育学科1年]水曜2限(約70分)
 - 4月12日・4月19日 ガイダンス(約30分)+図書館ツアー(約40分)(各自問題を解きながら館内をまわる体験型)
 - [総合経営学科1年]木曜2限(約15分)
 - 4月20日
 - [観光ホスピタリティ学科1年]火曜2限(約15分)
 - 4月25日
 - [短期大学部1年]火曜3限(約20分)
 - 4月25日
- ・ 図書館ツアー：各自問題を解きながら館内をまわる体験型を実施
 - [総合経営学科1年]木曜2限(基礎ゼミⅠ)
 - 5月11日 清水、5月18日 岡崎、6月1日 古田、6月8日 宇都、6月22日 佐藤、7月6日 小林
 - [観光ホスピタリティ学科1年]火曜2限(基礎ゼミⅠ)
 - 5月23日 白戸・林、5月30日 山根・中澤、6月6日 向井・畑井
 - [スポーツ健康学科1年]水曜4限(基礎ゼミⅠ)
 - 6月7日 根本・齊藤、6月14日 河野・新井・中島節子・住吉・中島弘毅
 - [短期大学部1年]水曜2限(専門ゼミⅠ)
 - 6月14日 廣瀬・金子・浜崎・糸井、6月21日 矢野口・木下・中山・小澤
 - 6月28日 飯塚・山添・上田・川島

③開館時間

開館時間	閉館時間(通常時)		閉館時間(長期休業中)	
	平日	土曜	平日	土曜
9:00	20:30	17:00	19:00	17:00

- ・夏休み中の土曜日は休館、祝日講義日は19:00閉館

④データベース関連

2023年度利用の有料データベースおよびEジャーナル

①国立情報学研究所データベース、②JDreamⅢ、③医中誌web、④メディカルオンライン、⑤信濃毎日新聞記事検索、⑥第一法規法情報、⑦ジャパンナレッジLib、⑧日経テレコン、⑨日経バリューサーチ、⑩Gale Academic One File、⑪Sociology Source Ultimate、⑫Eジャーナル(14タイトル、2パッケージ)

⑤学外者利用サービス提供

新型コロナウイルス感染拡大防止のため学外者の利用サービスは停止していたが、5月8日(月)より学外者の利用を再開した。2023年度の学外利用者数は461人であった。

2023年度松本大学図書館ゲストカードの登録者

	一般	松商学園関係者
継続	1名	1名
新規	6名	2名

⑥図書の充実・整理

2023年度受入図書数

図書		ビデオ	CD	DVD・Blu-ray	デジタル資料	和雑誌	洋雑誌
和:3,923	洋:139	0	0	36	2	386タイトル	31タイトル
全:4,062							

⑦蔵書点検

8月28日(月)～9月1日(金) 2023年度点検対象資料：図書館配架の和書、洋書、視聴覚資料
作業期間中は閉館とした。

⑧学生利用促進企画

- a) オーバーナイトローン、ワンデーローンの実施
- b) 新入生にOPAC仮パスワードをメール配信：4月6日(木)
- c) 授業サポート
 - ・学校教育学科 下山ゼミ3年：4月11日(火)2限「文献検索ガイダンス」
 - ・観光ホスピタリティ学科 山根ゼミ4年：4月28日(金)4限「文献検索ガイダンス」
 - ・総合経営学科 清水ゼミ4年：5月29日(月)3限「文献検索ガイダンス」
 - ・総合経営学科 清水ゼミ3年：5月29日(月)4限「文献検索ガイダンス」
 - ・人間健康学部1年：6月27日(火)2限「第11回情報倫理と文章表現」
 - ・教育学部1年：6月27日(火)4限「第11回情報倫理と文章表現」
 - ・人間健康学部1年：7月25日(火)2限「第15回情報倫理と文章表現」
 - ・教育学部1年：7月25日(火)4限「第15回情報倫理と文章表現」
 - ・司書課程：11月21日(火)4限「ジャパンナレッジの使い方ガイダンス」
 - ・教育学部1年：11月22日・29日(水)1限「レポート書き方講座」
 - ・司書課程：1月23日(火)5限「図書館基礎特論」
 - ・司書課程：1月30日(火)～2月9日(金)・27日(火)「図書館基礎特論」図書館実習
- d) 県内8短大連携企画、おすすめ本の紹介「隣は何を読む人ぞう」第51号～54号発行
県内8短大の学生・教職員・司書が毎号テーマに沿ったおすすめ本を紹介する。図書館サークル同好会に原稿作成を依頼した。
- e) 卒論貸出
 - ・図書の貸出期間を1ヶ月とし、1回貸出延長可。雑誌の貸出期間は2週間。
 - ・貸出冊数は通常の貸出冊数とは別に7冊まで貸出可能。利用申請は随時受付をしている。6月の定期メール、後期オリエンテーションで周知を図った。

申請者：学部51名(総経：6ゼミ13名、観光：5ゼミ13名、栄養：3ゼミ6名、スポーツ：2ゼミ2名、教育：11ゼミ17名)、短大8名(2ゼミ)

貸出冊数：図書・雑誌合計168冊

f) 延滞者督促メール配信、督促状配布

- ・月に1度、1ヶ月延滞者および2ヶ月以上超過の学生に督促メールを配信。年に4回、2ヶ月以上延滞の学生についてはゼミ担当より督促状を手渡ししていただく。2回以上行っても返却がなかった学生には実家へ送付。連絡のとれない学生については、ゼミ担当と相談し個別に対応した。
- ・図書未返却の卒業生・退学者・除籍者の督促対応について、これまで「卒業・退学後4年を経て返却されない場合に亡失扱いとし除籍処理をしていた」が、「1年を経た後に亡失扱いとし除籍する」こととした。
- ・教職員についても学生同様、延滞者には月に一度督促メールを配信するようにした。

g) 図書館定期メールの配信

月に1回、教職員と学生向けにメール配信を開始。図書館からのお知らせ、役立つ情報、新着図書、展示の情報などを配信。9月より教職員に対してもUNIPAから配信することで、非常勤講師にもメールが届くようにした。

h) 本の展示

コミュニケーションの本、本の帯から広がる世界、受賞作品(本屋大賞・芥川賞・直木賞の過去10回分の作品を展示)、雑誌でつかむトレンド、2023推し本フェア、講演会関連本の展示、直木賞・芥川賞受賞作、本屋大賞、戦争を知る、書評キャンパス、若い人に贈る読書のすすめ、図書館サークル同好会による展示、司書科目受講生による展示(未来の自分に役立つ本、さくら満開、新緑のきせつ、朝活、私って最強!、心が動いた映画、何かに役立つおススメ本)、「松本のミライを考える」に合わせた展示。

i) リサイクル図書コーナー

除籍された図書を定期的に入替、廃棄をした

j) 各種申込QRコード申請の対応

購入リクエスト、ILL、レファレンスのフォームスでの申込みについて、スマートフォンから気軽にアクセスできるようQRコード経由の申請も受付けている。学内掲示や定期メール等で周知を図った。リクエストは年々増加傾向にある。

k) 図書館サークル同好会のサポート

- ・展示場所の提供、広報、希望図書の購入
- ・謎解きイベントのサポート

⑨ 図書館広報関係発行物

- ・松本大学図書館利用案内
- ・図書館だより No.70～73(学生向け)
- ・松本大学図書館要覧2023年度版

⑩ 信州共同リポジトリ

松本大学研究紀要第21号、地域総合研究第24号 Part1・2、教育総合研究第7号をアップ

2023年度のトップページアクセス数：13,138回、論文等のダウンロード数133,363回

11月27日(月)：信州共同リポジトリ2023年度研修会 松本市(信州大学中央図書館)

研修会終了後、個別相談の時間をとっていただき、不明点や操作手順を確認した

3月21日(木)：2023年度信州共同リポジトリ年度報告会(オンライン開催)

5) 資料・設備等の整備・管理業務

i) 資料の整備

- ① レポート等課題調査・課題図書について、前期と後期に教員と非常勤講師に調査をし、お知らせいただいた図書はコーナーに設置。課題テーマより選書を任されるケースもあるため、所蔵中の資料を確

認しながら選書を行った。毎年出される課題や受講生の多い課題については、パスファインダーを設置した。

- ②シラバス掲載図書について、通年・前後期と色分けをした「シラバス」シールを貼付し配架。
- ③学科選定図書について、前期と後期で調査を実施し、通常配架とした。
- ④健康科学研究科博士課程3年次、総合経営研究科2年次の資料受入、装備、配架
- ⑤蔵書の見直し(特に2類、4類、6類、7類、絵本)、利用頻度の少ない資料については入替、新版調査を実施。
- ⑥未登録となっていた他大学学園史、寄贈雑誌等の整備(登録・装備・配架)
- ⑦JAIRO Cloud(WEKO3)移行環境確認、移行後の環境設定確認等
- ⑧紀要電子化調査

機関リポジトリやWEB上で公開されているものを調査し、公開されているものは除籍した。

- ⑨蔵書点検後の後処理(カビ本の拭き取り、ラベル修正・貼替、登録データの確認、入替調査等)
- ⑩修士論文の書誌データを情報館へ登録
- ⑪図書の除籍を進め、除籍した本はプレゼント本としリサイクル図書コーナーに配架した。
- ⑫就職コーナーについて、例年通りキャリアセンターと同資料を購入、配架。旧版はプレゼント本とした。
- ⑬研究室より返却された図書の処理
所蔵調査を行い、所蔵のないものは図書館所蔵とした。除籍対象となった本は新版調査や類似書調査を行い、資料の更新を図った。
- ⑭除籍雑誌の譲渡について、保存期間外の資料を教職員・学生に譲渡を行った。残った雑誌は一部プレゼント本とし、リサイクル図書コーナーに配架。配架しない分は廃棄処分とした。

ii)設備の新設・更新

- ①新型コロナウイルス感染症に関する対応としては、各階に消毒スプレーとペーパータオルを設置、座席の消毒は各自の判断に任せた。開館前に共用スペースの消毒を実施。
- ②1階電動書架内のカビの発生を抑制するため、除湿剤の取り替え、朝と夕方の2回温湿度を記録しデータを蓄積。
- ③1階電動書架の見回り：1回目・7・8月頃、2回目・9月蔵書点検後、3回目・3月頃
定期的に和書・洋書書架の見回りを行い、カビ本を見つけたらアルコールで拭き取り、周辺の本と書架もアルコールで拭き取りをした。カビ本、発生場所を記録しデータを蓄積。3回目は情報関係の書架も対象とした。
- ④洋書コーナーカビ菌検査(年2回)：8月23日(水)・2月28日(水)
- ⑤1号館北側書庫の清掃、除湿剤の設置
- ⑥貸出用ノートPCのメンテナンス
- ⑦情報館アップデート(リモート対応)：8月24日(木)
- ⑧入退館ゲート定期点検(年2回)：10月13日(金)・3月14日(木)
- ⑨各階に時計増設
- ⑩カウンター内PC5台のアップデート
- ⑪2階南側の換気扇取替工事
- ⑫後援会よりポータブル電源1台をご寄贈いただき、館内に設置
- ⑬絵本書架、展示台の増設

6) 教職員サポート業務

① 図書購入・図書費の管理

2023年度研究図書費実績

単位(円)

	学科	図書費	新聞雑誌費
総合経営	総 経	193,555	228,369
	観 光	279,166	578,061
人間健康	栄 養	31,623	185,072
	スポーツ	160,522	473,487
教 育	教 育	341,586	923,861
短 大	商 学	23,903	199,157
	経 情	37,639	177,619
大学院	健康科学	305,745	632,533
	総合経営	275,937	1,112,529
合計			6,160,364

職員図書費	86,391
-------	--------

② 図書・研究資料検索等

他機関からの資料取り寄せほか実績

文献複写 (依頼)	文献複写 (受付)	相互貸借 (借受)	相互貸借 (貸出)	紹介状 発行	国立国会図書館 デジタル化送信サービス
411	10	49	8	3	17

7) 総務的業務・他機関との連携

① 調査等への回答

6月29日(木)：日本図書館協会・図書館調査票提出(データ送信)

11月2日(木)：文部科学省2023年度(令和5年)学術情報基盤実態調査－大学図書館編－回答

② 長野県図書館協会関連

長野県図書館協会大学専門図書館部会・分科会 企画館・幹事

長野県図書館協会大学専門図書館部会図書館研究会 幹事校

第73回長野県図書館大会(松本大会)実行委員メンバー

6月17日(土)：第1回図書館大会実行委員会

10月16日(月)：第2回図書館大会実行委員会

10月28日(土)：第73回長野県図書館大会(松本大会)

1月25日(木)：第3回図書館大会実行委員会

③ その他

8月24日(木)～31日(木)：第84回(2023年度)私立大学図書館協会総会(メール会議)

9月1日(金)：第84回(2023年度)私立大学図書館協会研究大会(ハイブリッド開催)

8) 職員研修

① 学外研修

6月26日(月)：「Gale Academic One File」データベース講習会(録画配信受講)

7月6日(木)：EBSCO無料オンライン講習会「EBSCOhostでの検索のヒント」

7月10日(月)・31日(月)：EBSCO無料オンライン講習会「EBSCOhostの使い方 シンプル編」

- 9月5日(火)：長野県図書館協会大学専門図書館部会 図書館研究会夏期研修会「修理製本講習会」
長野市(清泉女学院大学・短期大学東口キャンパス)当館幹事
- 10月24日(火)：第25回図書館総合展 係長参加 神奈川(パシフィコ横浜)
- 10月27日(金)：第73回長野県図書館大会専門図書館部会分科会(オンライン開催)企画館・幹事
- 10月28日(土)：第73回長野県図書館大会(松本大会) 館長参加 松本市(松本市音楽文化ホール)
- 11月 第2週目：医中誌Web オンラインイベント「医中誌Webの使い方、新機能の紹介等」全5回
- 11月14日(火)：キャリアパワー主催 図書館バーチャルツアー「大阪工業大学図書館大宮本館」
オンラインイベント
- 11月16日(木)：丸善雄松堂開催 第4回ウェビナー「Maruzen eBook Library 電子書籍利活用ご紹介」
オンライン参加
- 3月25日(月)：長野県図書館協会大学専門図書館部会 図書館研究会(松本大学)

9) その他

①松本大学古本募金

「松本大学古本募金」プロジェクトへの協力(回収ボックスの設置、除籍本の寄付、査定調査、総務課へ運搬)。

(6) 国際交流センター運営委員会

1) 委員会開催

2023年度の委員会は、5月、7月、10月、11月、12月、2月、3月の合計7回開催した。構成委員は、教員6名、職員4名である。後期より学生課長が交代し、国際交流センター事務局と教員との連携を強化するため、これまで2ヵ月に1回の頻度で実施していた委員会を毎月行うこととした。

2) 業務報告

①外国人私費留学生(1名)への授業料減免面接

私費留学生1名(中国出身、観光ホスピタリティ学科3年)の授業料減免審査の面接を実施。国際交流センター委員と学生課長による面談の結果、授業料半額の減免対象となった。

②日本人学生海外留学支援(16名)

2023年4月から2024年3月まで海外に滞在した日本人学生は、昨年並みの16名であった。外留学をした学生の内訳は以下の通りである。

- a) 総合経営学部総合経営学科3名(韓国東新大学1名、韓国1名、タイ国1名)
- b) 総合経営学部観光ホスピタリティ学科2名(チェコ共和国パルドビツェ大学1名、台湾義守大学・中国河北大学1名)
- c) 教育学部7名(マルタ共和国マルタ大学3名、オーストラリアニューカッスル大学1名、米国ハワイ大学2名、中国河北大学1名)
- d) 松商短期大学部4名(イギリスアベリストウィス大学2名、オーストラリアン・カソリック大学1名、韓国東新大学1名)

上記の16名の内、14名に対して松本大学同窓会より留学生支援金42万円(一人3万円)が補助された。加えて、この14名中3名(教育学部2、短大1名)には、国際交流センター運営委員会の選考の結果、村瀬組奨学金より合計20万円が支給された。留学支援金の対象外となった2名は、個人の海外インターンシップや長野県派遣制度で中国研修に参加した学生であった。

③外国人交換留学生支援(4名)

本年度の松本大学及び短期大学部への提携校からの交換留学生は合計4名であった。内訳は、韓国東新大学より女子2名、台湾義守大学より女子1名、台湾醒吾科技大学より女子1名であった。

④新規大学間交流協定提携

本年度は新規の大学間交流協定提携はなかったが、インドネシアのダルマプルサダ大学より理事長の訪問があった。ダルマプルサダ大学は、本学が2023年度に産学連携協定を結んだ株式会社アルピコホールディングスの依頼を受けて、大学間交流協定の要請がなされた経緯があるが、本年度中には提携には至らず継続審議となった。

ニューカッスル大学(オーストラリア)と締結をしている覚書(MOU)について、2024年1月～2027年12月末までの期間の協定契約継続をすることとした。また、オーストラリアン・カソリック大学(オーストラリア)と締結を結んでいる覚書(MOU)の有効期限が2024年3月で切れるので、再度延長することとなった。本学へは、本学から過去5年間に3名の渡航実績があり、将来的には授業料免除の交換留学制度の締結を目指して行く。更に、国立済州大学(韓国)との覚書も2018年に有効期限が切れていることから、再締結を目指すこととした。

⑤梓乃森祭 国際交流センター主催「留学フェア」10月14日(土)

新型コロナウイルス感染症による国際交流活動が縮小されてきた中、海外留学や国際交流に対する意識も減退してしまっていた。国際交流センターでは、梓乃森祭にて「留学フェア」を企画し内容の濃いイベントを開催した。その内容は、松本大学海外研修プログラムの紹介や留学体験発表、交換留学生による母校紹介、国際交流クラブの活動紹介、特別講演「イスラーム文化と伝統」に加えて、旅行会社による留学商品の案内などを提供した。

⑥Winter Program「日本語研修プログラム」1月26日(金)～2月8日(木)

台湾義守大学の学生12名を対象に2週間の日本語研修プログラムを開催した。日本語研修に加えて、茶道クラブによる日本文化体験、地獄谷野猿公苑見学、佐久市の企業訪問や松本商工会議所訪問など、充実した内容のプログラムとなった。参加費用は1人10万円と格安であった。参加条件として日本語能力試験3級合格程度を課したが、概ね参加者の日本語理解力は高く、大学卒業後に日本企業に就職が内定している学生の参加も見られた。

⑦東新大学主催2024年度韓国語・韓国文化体験プログラム

東新大学では、2024年の8月より2週間の韓国語・文化体験研修プログラムを企画しており本学での学生募集を始めた。

3) 活動報告

- 3月28日～2024年8月 韓国東新大学より2名の交換留学生受け入れ
- 9月11日～2024年8月 台湾醒吾科技大学より1名、義守大学より1名の交換留学生受け入れ
- 10月14日 「留学フェア2023」
- 10月15日 「日本語研究発表会」オンラインでの嶺南師範大学学生による日本語研究発表
- 11月28日 東新大学総長Lee Jubee先生、国際教育院Ryu Jaeyeon先生らの表敬訪問
- 11月28日 ダルマプルサダ大学理事長Hideki Amangku氏の表敬訪問
- 1月26日～2月8日 日本語研修プログラム
- 4月15日 松本大学同窓会海外研修支援金贈呈式(2023年度分)
- 4月23日 村瀬組奨学金贈呈式(2023年度分)

B: 学生支援

(1) 全学就職委員会

1) 委員会開催

①4月25日(火)

- ・保護者就職説明会(学部)の全体プログラムの確認、各学部学科のプログラムについて審議を行い、承認された。

- ・インターンシップ推進委員会が本委員会に統合されたことにより、昨年度のインターンシップ推進委員会で承認されている点について確認を行った。また、今後のスケジュールについても確認を行った。
- ・2023年3月卒業学生の内定状況、2023年3月卒業予定学生の内定状況が確認された。
- ・2023年度の就職委員会及びキャリアセンターの年度計画について確認を行った。
- ・その他、学内個別企業説明会や業界研究セミナーの周知、キャリア面談の実施報告がなされた。

②5月16日(火)

- ・インターンシッププログラムにおける学生と受け入れ企業とのマッチングについて審議がなされ、承認された。

③6月1日(木)

- ・保護者就職説明会(学部)の最終プログラム案について審議がなされ、承認された。
- ・2023年3月卒業学生の就職率(確定値)について確認がなされた。
- ・2024年3月卒業予定学生の内定状況が確認された。
- ・7月実施の学内合同企業説明会の準備状況について確認がなされた。
- ・前期実施分の業界研究セミナーにおいて、OB・OGが登壇する予定であることが報告された。
- ・基幹システムの変更により、成績証明書の発行形態が変更になることが報告された。

④7月25日(火)

- ・自由応募型の採用選考に係る内々定後の推薦状の取り扱いについて、2025卒業予定者の採用選考からは、内々定と引き替えに推薦状を求めてくる企業に対し大学として推薦状を出さないこととし、本年度より企業に対し説明をしていくことが審議、承認された。
- ・学内での実施予定である長野県中小企業団体中央会主催合同説明会の日程変更について審議がなされ、承認された。
- ・2024年3月卒業予定学生の内定状況が確認された。
- ・7月14日に実施された学内合同企業説明会について報告がなされた。
- ・夏季就職対策講座の実施予定について報告がなされた。
- ・2022年度卒業時アンケートにおける就職委員会及びキャリアセンターに関する内容について情報共有がなされ、今後より一層学生の就職支援を充実したものにしていくことが確認された。

⑤9月26日(火)

- ・松本市との「地域の人事部事業」(経済産業省関東経済産業局支援事業)に関して、インターンシップにかかる協力について審議され、承認された。
- ・2024年3月卒業予定学生の内定状況が確認された。
- ・後期に実施する就職支援ガイダンスの内容について報告がなされた。
- ・夏季就職対策講座の実施報告がなされた。
- ・後期の業界研究セミナーの実施予定について報告がなされた。
- ・松本大学インターンシップの実施状況が報告された。
- ・「短大教育と地域社会」の中で、短大1年生を対象に企業訪問が行われたことが報告された。
- ・上田市をはじめ東信地区10市町村が連携している東信州次世代産業振興協議会が主催する「大学と長野県企業との情報交換会」の参加について報告がなされた。
- ・長野県中小企業団体中央会主催の合同企業説明会の実施状況が報告された。

⑥10月24日(火)

- ・2024年度年間計画案について審議を行い、本年度との変更点として、保護者就職説明会(学部)を学部2年生も対象とすること、松本大学キャリアセミナーの日程を前倒しすること、7月実施の学内合同企業説明会の会場を変更することが確認された。各学部等で確認を行い、次回委員会で意見を募ることとし、継続審議となった。
- ・2024年3月卒業予定学生の内定状況が確認された。
- ・短大部の保護者就職説明会に実施予定について報告がなされた。

- ・10月15日に実施されたインターンシップ成果発表会について報告がなされた。
- ・松本大学キャリアセミナーの実施予定について報告がなされた。
- ・就職活動を間近に控えた2025卒学生を対象に、優良企業情報誌「エラベル」を配布していくことが確認された。
- ・12月に、本学を会場として東信地区企業10社との情報交換会を実施する予定であることが報告された。
- ・本学と東新大学で「就職支援プログラム」に関する覚書を締結しており、今回この覚書が更新され5年間継続することになる。国際交流センターで主管している事業ではあるが、留学生が日本で就職することを目的としており、就職委員会としても引き続き留学生の就職支援に協力していく旨が報告された。
- ・その他、就職ガイダンスの出席状況、GPSアカデミックの受検状況、業界研究セミナーの参加状況について報告がなされた。

⑦12月26日(火)

- ・継続審議となっていた2024年度年間計画について、保護者就職説明会(学部)の日程を6月1日とすること、大学キャリアセミナーを12月6日することが審議され、承認された。
- ・2024年度の保護者就職説明会(学部)のプログラムを各学部学科等で検討し、今年度内に大枠を確定させることが審議され、承認された。
- ・2024年3月卒業予定学生の内定状況が確認された。
- ・11月25日に行われた短大保護者就職説明会において、参加者が46家庭61名であったことが報告された。
- ・松本大学インターンシッププログラムの本年度の最終実施報告がなされた。
- ・学部3年生・短大1年生を対象とした就活前キャリア面談の実施予定について報告がなされた。
- ・前期・後期に実施した業界研究セミナーについての実施報告がなされた。
- ・12月7日に企業の採用担当者向けのキャリアセミナーを実施し、242名の方が参加したことが報告された。
- ・2023年度学修行動調査における学生からの自由記述の内容について、就職委員会及びキャリアセンターに対しては、「他県への就職サポートを充実してほしい」、「学んだ内容に関連する就職先を知りたい」といった意見が寄せられており、今後、改善できるところは改善を図っていくことが確認された。
- ・12月14日に学内で実施した東信州次世代産業振興協議会主催の企業との情報交換会について、主に東信地方の企業を中心に10社が参加して行われ、ワークショップ等を通して、本学の概況や就職状況、インターンシップについて、また企業側が採用活動において抱えている課題等、情報交換を行うことができ、とても有益だったことが報告された。

⑧2月27日(火)

- ・継続審議となっている2024年度就職委員会年間計画案について、以下2点につき審議を行い、異議なく承認された。

①7月合同企業説明会について

夏に第一体育館で実施すると暑いということもありこれまで9号館での実施も視野に入れ検討してきたものの、9号館1・2階とフォレストホールの2階を使用した場合でも第一体育館の半分程度しかブースを確保できないため、これまで通り第一体育館での開催とする。

②2月合同企業説明会について

一般的には、3月1日が就職活動の解禁日となっており、それ以降説明会などが実施されているということ踏まえ、2月に実施している合同企業説明会を「合同企業セミナー」という名称に改めることとした。

- ・2024年3月卒業予定学生の内定状況が確認された。
- ・学内合同企業説明会について、延べ人数で713名(学生報告ベース)の学生が参加したことが報告された。
- ・学部3年生と短大1年生を対象に実施したキャリア面談について、出席率は全体で77.5%であり、前年よりも下がったことが報告された。
- ・学部2年生キャリア面談について、3月より、延べ8日間にわたって学部2年生のキャリア面談を実施していくことが報告された。

2) 事業活動

①年度内の求人受理事業所数

32,338件

②学内合同企業説明会の開催

2023年7月14日 計56事業所

2024年2月20日、21日、22日 計150事業所

③保護者就職説明会の開催

大 学：6月17日(土) 94家庭、125名参加

短大部：11月25日(土) 46家庭、61名参加

④キャリア面談の実施

学部2年生対象：2024年3月

学部3年生・短大部1年生対象：2024年2月

⑤インターンシップ参加支援

松本大学インターンシップ事業：参加人数140名、協力事業所58

信州産学官インターンシップ：参加人数13名

⑥学内個別企業説明会の開催

計40回

⑦学生向け各種支援講座の開催

夏期就職対策講座、業界研究セミナー、就職対策講座(2月)等

3) 各学部の部会開催

総合経営学部：11月13日(月)

人間健康学部：6月9日(金)

教育学部：5月9日(火)、10月31日(火)、11月24日(金)、12月28日(木)

短期大学部：5月11日(木)、6月8日(木)、7月5日(水)、10月6日(金)、11月10日(金)

(2) 全学学生委員会

1) 委員会開催

・第1回 4月21日(金)

[審議事項]

委員会構成並びに事業計画案の確認、学外指導者の承認について、新設同好会の承認について、学生事案について

[報告事項]

新入生オリエンテーションについて、学生の情報について

・第2回 6月3日(月)

[審議事項]

強化部・重点部連絡会議、女子ソフトボール部の強化部継続決定。

・第3回 6月16日(金)

[審議事項]

学生生活におけるマナーやルールの確認。FX勧誘等、喫煙、違法駐車対策についての確認。同好会結成承認、大学祭出役についての協議について

[報告事項]

第29期経済状況悪化等に伴う支援制度、学友会活動(学生大会、大学祭、松本ほんぼん、3大学交流事業)について

- ・ 第4回 7月21日(金)
 - [審議事項]
 - 同好会結成、第29期経済状況悪化等に伴う支援制度、後期オリエンテーション時の学生指導、大学祭、学友会活動について
 - [報告事項]
 - 学祭局からの近況報告、強化部連絡協議会議報告、学長賞授与変更、喫煙対策、学友会運営について
- ・ 第2回強化部連絡会議 6月26日(月)
 - [審議事項]
 - 学生募集・今後の進め方について、各部の現状報告、入試に関わる会議、ひとり親学生の対応、出張報告時の願い等確認
- ・ 第3回強化部連絡会議 8月30日(水)
 - [審議事項]
 - 学生募集(強化部・重点部、その他)
- ・ 第5回 9月22日(金)
 - [審議事項]
 - スポーツ特待生判定継続審査、入学前教育、新入生オリエンテーションについて
 - [報告事項]
 - 学祭局からの近況報告、強化部連絡会議報告、学友会による三大学学生交流課題研究会議について
- ・ 第6回 11月14日(火)
 - [審議事項]
 - 8号館駐車場、新規同好会承認、学生保険、喫煙場所、学生活動支援金について
 - [報告事項]
 - 学友会年内行事報告、三大学学生交流課題研究会に伴う経費内訳について
- ・ 第7回 12月19日(火)
 - [審議事項]
 - 女子バレー部の設置、女子ソフトボール部コーチの採用人事について
 - [報告事項]
 - 学生活動支援金について
- ・ 第8回 1月12日(金)
 - [審議事項]
 - 女子バレー部指導者の採用、新規同好会承認、屋外特定喫煙場所設置について
 - [報告事項]
 - 能登半島地震における被災状況の確認について
- ・ 第9回 2月6日(火)
 - [審議事項]
 - 学生処分について
 - [報告事項]
 - 事業計画、新規同好会承認、屋外特定喫煙場所設置、学位授与式集合写真撮影について
- ・ 第10回 2月29日(木)～3月4日(月) メール審議
 - [審議事項]
 - スポーツ特待生の継続審査について

2) 経済状況悪化に伴う修学困難な学生支援制度・日本学生支援機構奨学金

「経済状況悪化に伴う修学困難な学生支援制度」について、第28期は8人(学部8人)、第29期は12人(学部12人)の延べ20人の学生を採用した。

「日本学生支援機構奨学金」について短大含む全学部、給付型95人(学部69人、短大26人)、第一種(無利子)147人(学部111人、短大34人、大学院2人)、第二種(有利子)170人(学部143人、短大27人)と、延べ人数では前年度比3%増とこれまで以上の人数が申し込みをした(複数の奨学金を併用して受給している学生を含む)。

(3) 障がい学生支援会議

1) 会議開催

・第1回 4月27日(木)

[審議事項]

合理的配慮申請者について、配慮内容を検討した。また、各学科の委員に伝達することを確認した。承認プロセスを確認した。座席指定のみの申請は取り扱わないことを確認した。

[報告事項]

無し

・第2回 5月31日(水)

[審議事項]

合理的配慮申請者2名について、配慮内容を検討した。前期の申請期間、後期の申請期間の目安時期の検討。

[報告事項]

前回に協議した学生からの不服申し出は無いことが報告された。

・第3回 6月15日(木)

[審議事項]

配慮申請後の流れの確認。配慮申請者1名について配慮内容を検討した。学内における情報の共有及び変更に伴う確認。

[報告事項]

前回に協議した学生からの不服申し出は無いことが報告された。

・第4回 10月13日(金)

[審議事項]

入学後の大学生活での配慮・要望等の確認

・第5回 10月20日(金)

[審議事項]

入学後の大学生活での配慮・要望等の確認

・第6回 11月14日(火)

[審議事項]

合理的配慮申請者2名について、配慮内容を検討した。学期・年度の変わり目において教員に周知していくことが提案された。